京城日報
二十日夕刊
發行所 合名會社 京城日報社

汽車時間表（七月十日改正）

◎東清松花江協定終了

東清鐵道及松花江航行權に關する日露兩國の協定締了せり支那政府の承認を經たる上發表の筈（東京電報）

◎英藏劵一億圓引受

英國大藏證劵一億圓を我政府に於て引受け在米の正貨にて支拂ふ事となり年利五分期限一箇年と決定せり（東京電報）

◎英國勞働者の愛國的決議

英國勞働組合聯合會議は戰爭の終る迄總ての休日を延期すとの愛國的決議を爲せり公衆は此の報を得て歡迎せり（倫敦電報）

◎獨逸潛航商船出港か

獨逸潛航商船ドイッチランド號は多分十八日夜ブレメンに向ひ出港すべしと豫期せられつゝあり米國政府は同艇の備付けたるカートン無線電信を使用する事を峻拒せり（紐育電報）

◎獨逸出征軍組織變更か

アムステルダム來電に曰くヒンデンブルグ將軍は獨帝及び陸相ファルケンハイン氏と軍事に關する協議を爲すべく西部戰線より召還せられたり其の爲め出征軍の組織を變更せられヒンデルブルグ將軍は東部全戰線の總司令官たるに至るべしと信ぜらる（倫敦電報）

◎東京の祝賀會

廿日夜上野公園に於て朝野名士の日露協約祝賀會を催し同時に市民は提灯行列を行ひ祝意を表する筈（東京電報）

◎勅選議員缺員

貴族院議員奧山政敬氏の逝去により勅選議員の缺員總て十一名となれり（東京電報）

◎モリソン來らん

支那政府顧問モリソン氏は避暑の爲來遊中の妻子と合すべく不日北京出發朝鮮を經由し來朝の筈（東京電報）

◎岡男爵薨去

病氣中なりし前陸軍大臣男爵岡市之助氏は十九日午後九時終に薨去せり是より先き病氣危篤の趣 天聽に達し二十日左の如く御沙汰ありたり（東京特電）

陸軍中將從三位勳一等功三級男爵 岡市之助
敍正二位（特旨）

◉協約祝賀會順序 今夕七時半時間勵行

京城に於ける日露協約祝賀會は愈二十日午後七時三十分より朝鮮ホテル大食堂に於て開會す參加者三百三十餘名にして其開會順序は民間側の發起人總代原田金之祐氏の挨拶にて開會し直ちに一同起立の裡に兩國々歌を吹奏し山縣政務總監の發聲にて全露西亞皇帝陛下の萬歳京城駐在露國總領事ルッチェ氏の發聲にて日本國皇帝陛下の萬歳を何れも奉唱し次に駐日露國大使、大隈內閣總理大臣、石井外務大臣等に宛てたる祝電を石塚農商工部長官朗讀直ちに之を東京に向け發信したる後食堂を開く食堂閉鎖後は豫ねて別室に設けたる餘興數番あり退散の筈なりと

▲代表者交驩 二十日午後七時三十分朝鮮ホテルに擧行の日露協約祝賀會上に於て山縣政務總監は日本側を代表し露國總領事ルッチェ氏は露國側を代表して互に祝詞を交換す可しと

◉總督箱根に赴く

寺內總督は豫定の如く十九日朝東京出發休養の爲め箱根に赴ける旨池邊秘書官より總督府に電報ありたり

岡男爵略歷

正三位勳一等功三級陸軍中將男爵岡市之助氏は山口縣士族岡吉春の長男にして萬延元年三月七日を以て生る、明治十二年士官學校に入り同十四年歩兵少尉に任ぜらる、同十九年陸軍大學校に入り同二十一年卒業し爾來累進して同四十五年二月陸軍中將に昇る其間第一師團參謀、參謀本部々員、歩兵第二十二旅團長、同二十九旅團長、陸軍省軍務局長、陸軍次官、第三師團長に歷補す

日清戰役の功に依り功四級金鵄勳章を賜り北清事變に功あり勳四等に敍し**日露戰役**には歩兵第二十二旅團長として**殊勳**あり勳二等に陞敍せられ**功三級**金鵄勳章を賜はる大正二年四月**陸軍大臣**に任じ日獨戰爭の起るや病を勉めて軍事に盡す所少からず、大正五年三月三十日病を以て陸軍大臣を辭す**多年の勳功**に依り同七月六日特に男爵を授けられ特旨を以て華族に列せらる、又同日併せて**日獨戰役**の功に依り旭日桐花大綬章及び金四千圓を授け賜ひ、爾來病に臥して今日に及べり、享年五十七歲家族は母堂丞い子夫人登茂子、令弟五郎松之助兩氏及び令息春陸氏（十九歲）の外三令孃あり長女はつ子は歩兵大佐津野一輔氏に、次女みち子は歩兵大佐福原佳哉氏に嫁せり

◉辭令

十九日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校敎授 朴容喜
免兼官

朝鮮總督府勸業模範場技師兼朝鮮總督府農林學校敎諭 宮原忠正
免兼官

咸興地方法院元山支廳判事 小林茂
補咸興地方法院部長 三級俸下賜

又二十日附を以て左の如く辭令あり
退職を命ず

◉元山松江線全通

久しく故障の爲め通信上の障礙少なからざりし元山松江間の日本海底電信線は遞信省修理船沖繩丸の上修理中の所十七日全部復舊せりと

◉大陸政策と三線問題（上）

地方的偏見を去り公平に研究せよ

『朝鮮の人も冷淡だ』と□□□氏は語る

▲火の手揚る 三線連絡運賃問題は非常な事になつたものだ、大連ではまるで蜂の巢を叩き壞した如うで朝鮮鐵道並に鐵道院に向つて手痛き攻撃を加ふるのみならず、滿鐵までがお膝下からの攻撃の矢面に立つといふ有樣である。此の三線連絡運賃制度については先年來從來から大連方面で反對運動を起したものだが、併し今度ほど不感的な反對運動は見た事がない。余輩は此問題に就て朝鮮に居る者としての立場より利害を云爲する事は嚴格に避け、帝國民として最も公正な立場より目下の問題を觀察し批評しやうと思ふ。從て內地と云ひ朝鮮と云ひ滿洲と云ふが如き地方的利害は暫く眼中に措かぬ。況や大連と謂ひ奉天と云ふが如き一小地域の利害に於てをや

▲大陸政策の第一義 余が如上の立場より考ふる所を茲に明かに宣言して置きたい。曰く、日本帝國の大陸發展策は政治上の關係より見るも、將又經濟上の關係より論ずるも、事上の關係よりするも、土地上の關係より論ずるも、場として北方滿蒙に向つて勢力の伸暢を策するを以て根本義となす。進んで申せば滿鮮の經濟的統一といふ事は滿蒙の富源を開發し國民の發展を期するには絕對的要件である。若し此の大義に反するが如き、或ひは反せざる迄も、傍路に外れた政策を執らんとせば、帝國の大陸發展は正當に且つ順調に其成果を期する事は覺束ないと云はねばならぬ。朝鮮といふものを總ての計算に加へて滿蒙の開發を爲すべく、而して經濟上滿鮮の統一を計るべしとの主義は余の新說でも何でもない。我邦朝野の識者の大多數が既に其の然るべき理由を充分に領會せる所であつて最早今日では輿論になつて大勢を馴致して居るものと明言し得る。若し之に反して朝鮮は如何でも宜い、滿蒙は滿洲を中心として之を經營すべしと說く者がありとせば、幷は大局から見れば極めて小數なる滿洲の一部地方人が、其の地方乃至地點の繁榮を思ふ利害の議論よりするものであつて、斯くの如きは國家的見地より排すべき地理的感情論と云はねばならぬ。余は大連に對して何等惡意を有せない、否な大連が南滿洲に於ける大都市大商港として今日の如き發達を來して居る事については大連の人士に對して多大の敬意を平素拂つて居るものである、何年から今日の有樣を見ては全然大連で主張さるゝ所が正當であり公平であるとは如何にしても云ひ得ない、これ甚だ余の遺憾とする所である。

▲地方的偏見 茲に忌憚なく言へば、今日大連方面で主張さるゝ所は、之を大連の立場より見る時は如何にも尤も千萬な申し分である。其點については余輩大連人士の感情を諒としたいと思ふ。さり乍ら、大局の上より之を觀ずれば、殘念乍ら大連の諸君は大連あるを知つて朝鮮あるを閑却し、更に切言すれば帝國の大陸發展に於ける大精神を閑却して居るやうである。滿蒙經營は滿洲本位たるべく、而して大連は之が策源地たりと大連では主張する、それが地理的感情と云ふものだ、誰れしも自分の土地ほど可愛いものはない大連が滿蒙經營の策源地であると云ふなら、奉天も亦策源地なりと云ひ得るであらう。又大連の繁榮を擧ふは滿洲經營の退歩にして滿洲をして朝鮮に隸屬せしむるものと大連では考へて居るやうである、一體何が大連の繁榮を奪ふのか、三線連絡運賃制が大連をして死滅せしめると云ふのであるか、然りとせば其れは輕率なる判斷である。吾人は大連が此の制度で影響を受けぬとは思はない。素より多少の影響はあるし、併しそれが爲めに自熱的に騷ぎ出す程の必要は未だあるまい。

▲大連の大使命 吾人の思ふ所を以てすれば、大連は世界的商港である、即ち日本內地に向つての對內的商港と云ふよりは、歐洲、米國、支那、南洋等に向つての對外的商港である。其の港灣としての設備の大規模にして、漏斗形に擴がつた背後生產地を控ねて居る等の點より見るも、東洋に於ける一大商港としての資格を有する、從て大連は將來世界的商港として大に其の眞價を發揮し其繁榮を謀るべき使命を有すべきものである

◉下水溝協議員會

京城下水の開設に關する府協議員會は二十日午前十時半より開會出席者十七名金谷府尹より同工事設計案に就て大體の說明をなし更に工事の方法に就ては森土木技師より逐次說明する所ありたるも夕刊締切迄には議了を告げざりき

大邱

▲服部總務部長出張 服部總務部長は慶山、彥陽地方慶尙南北兩道界を視察すべく二十日大邱出發二十七日歸邱の豫定 ▲寺西軍醫監來邱 寺西軍醫部長軍醫監は十八日來邱衛戍病院を視察し十九日守備隊の視察を了し馬山に向へり

鎭海

▲千代田入港 旅順要港部所屬軍艦千代田（二千四百五十噸）は十七日午前六時卅分駿洞灣に入港し兵員の上陸を許可したるが乘込員數は三百五十名にて十八日旅順に向け出發艦長は中佐小松自然氏にして副長は永野海軍少佐なり ▲疫痢發生 年少子女を冒して昨今死亡者數を增し大人男女の間にも傳染し患者多きが天氣回復して炎熱日に加はるに至らば或は本年は流行病の發生蔓延を惹起するにあらざるかと憂慮するもの尠からず ▲鎭海要港部 先程來より各部海水浴場選定に關し詮議中なりしに此程に至り防備隊は同隊棧橋より以南に臨時海水浴場を定め休憩水泳等に要する準備を整へ要港部員は知港事廳前海面を以て充用することゝし家族の人の爲には他に選定せらるゝ筈也と

木浦

▲棉業總會 木浦棉業株式會社にては十五日午後一時より公會堂に於て株主總會を開き社長の挨拶、專務の營業報告あり原案を可決し重役は何れも再選就任したり ▲榮山浦繩叺組合總會 第四期總會を去る十三日開催木浦羅州等の組合員も多數出席し本期の營業報告貸借對照表財產目錄損益計算を承認し利益金處分又原案通り可決し役員の選擧を爲し前期總會より懸案となり居りたる株式會社に組織變更の件は時勢の進轉に伴ひ更に研究の必要に迫られ當局に陳情協議することゝなり黑住杉本矢島の三氏及び坂本理事は委員として道廳に出頭することゝし散會したり

人事消息

▲人見次郎氏（農商工部農務課長）▲矢野久三郎氏（釜山稅關長） 二十日朝發渡歐 ▲竹內德三郎氏（久原鑛業技師）▲鳥山喜一郎氏（同）▲岡田愛知氏（同）十九日夜入京天眞樓へ ▲ウヲフコート氏▲モルチン氏▲コリヨン氏（以上英人） 十九日夜入京朝鮮ホテルへ ▲幽屋忠正氏（東拓土木課長） 南鮮方面出張中なるが兩三日中に歸任の筈 ▲村上秀一氏（東拓植民課長） 岡山外三縣へ移民勸誘の爲め二十一日出張

祝日露協約

京城酒商組合（いろは順）

一鶴發賣元 京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

富の壽 菊世界 發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替京城四九三番

清酒 金露 長春 醸造發賣元 京城南大門通二丁目 大塚京城支店 電話四〇一番 振替京城五七〇番

菊正宗、白鶴、二羽鶴、澤龜、大日本麥酒會社特約店 京城本町三丁目 田中支店 電話七六四番

櫻正宗 櫻魂 發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城一四五四番

菊正宗、白鶴、白鹿、金露、折鶴正宗、麥酒特約店 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替京城四二五番

金婚、銀釜、富久娘、菊正宗、櫻正宗、比翼鶴、加六正宗、佐藤移入發賣 サッポロビール特約店 京城黃金町一丁目 三巴商會 電話三八〇・七五三 振替京城三八〇番

百合正宗發賣元 京城南大門通三丁目 百合正宗京城支店 電話一五一五番

清力正宗發賣元 京城本町二丁目 清力京城支店 電話長六七九番 振替京城一五五六番

有薫發賣元 京城黃金町二丁目 首藤京城支店 電話一一七一番 振替京城三七二番

品質の御撰擇は たった一秒間!!

優秀なキリンビールを召上かれ

祝日露協約

本社 東京日本橋駿河臺壹番地

主要取扱業務及品名
內外輸出入仲次、運送業、代理業、問屋業
石炭コークス、棉花、綿絲、綿布、絹綿毛織物、米穀、豆粕、砂糖、金物、葉煙草、燐寸、木材、麥粉、黑鉛、藥品、諸機械及附屬品、鐵道材料枕木、船舶、自働車、建築材料、苛性曹達、紙、セメント、人造肥料、火藥、爆發物

京城黃金町一丁目六十四番地
株式會社 三井物產京城支店

取扱商品
米、大豆、雜穀、大豆粕、人造肥料、爆發物、重石、水鉛、セメント、機械類、電信電話材料、三榮棉布、棉花糸布、金物類、石炭、平壤鑛業所製煉炭、北海道木材、營林廠木材、燐寸、砂糖、麥粉、パインアップル等

仁川出張所 電話六三番　釜山出張所 電話六五五番　群山出張所

□山東護國軍幹部 山東に於ける護國軍の勢力は張將軍を凌駕せんとするの概ありて輕視すべからざるより黎總統は其首領吳大洲に至急上京すべしと打電せり、寫眞は吳大洲及び其幹部にして前列向つて右より第二、財政長陳愈武第五、總司令薄子明第六、吳大洲第七、軍政長夏適時第八、參謀長尤民なり

●この暑中休暇は 如何にして過ごすべきか

京城を始め朝鮮全道の各學校では廿日修業式を行ひ二十一日からいよ／＼暑中休暇に入る、夏休みを如何にして過すべきか精神と體育の上に如何にしてこの期間を利用すべきかといふ事は研究を要する問題である。

＝秋山視學官談＝

夏休を如何に利用す可きかの論よりも一歩進んで近來は夏休の可否存廢論さへ起つて居る位であるが自分は

▽夏休み存置論者 の一人で夏休みは

大に行らなければならぬと思ふ、即ちよく働きよく遊ばなければならぬのである。さればとて外國の學校の樣に三箇月も半歳も休むと云ふことは又如何かと思ふが一月やそこらの休業は體育上頗る有効であつて從來の經驗に據つて見ても夏休み後の成績も却々良好である。從つて緊張した學生の精神を夏休みに由て休養の時間を與へるのは至極結構なことだと信じて居る、唯茲に注意しなくてはならぬ事は折角の夏休みを如何に利用す可きかと研究を要する點であらう、夏休みを

▽學校に設くる理由 の一は精神の休養と體育との爲である、夏は氣候の關係上

で實際授業を行つて見ても其効果が少ないから寧ろ此機會を利用して生徒の精神を休養せしめ專ら身體を發達せしめようとするのである、故に休暇中に於て家庭で勉強させるのもよいが勉強は單に復習位に止めて置けばよいので未修の學科に對して迄大に勉強させる必要はない、只既修の部分を忘却せしめぬ樣學習訓練を遺却せしめぬ樣との目的の爲に每日時間を定めて適當に机に向はしむるのがよい。其時間も尋常生ならば朝夕各三十分乃至一時間高等科、女學校、中學校などであれば朝夕各一時間乃至二時間位の復習をさすれば上乘である

▽此以外の時間は 大に開放して自由に

面白く遊ばせる樣にして欲しい。拘束しないで自由に遊せと云へばとて程度問題で無暗に放任せよと云ふのではない良家の子女としての相當な監督を要するは勿論である、學校では夏休み中に何回か生徒の召集をし傍ら課してある宿題とか或は體育其他の心得に就て訓話を與へる樣にして居るが、これは夏休み中に於ける家庭の作業を助ける爲めである。又一面今日の樣な日本の家庭の狀態では四十日間を通じて

▽全然生徒を家庭に 一任し去ることが出來ぬと云ふ樣な懸念も含まれて居

る。自分は生徒の爲にも亦國家のためにも日本の家庭が今日より良くなつて子女の敎育に就て一層細心の注意を拂ふ樣になり休み中でも訓育上のことは勿論學習のことも或は休み中讀物の選擇とか交友の監督などに對する智識等の益發達せんことを望ふのである尙ほ暑中休み中の有力なる體育法として水泳などは最も良い角力の如きも面白い、又中等以上の學校生徒は

▽相當の方法で旅行 をなさしむることも

良い、要するに消極的よりも寧ろ積極的なる方が望ましい。又農業地方等にある者は農業の手傳を爲さしむるが如きことは體育上から見ても至極結構である。一般に休業中家事の手傳をさせると云ふことは敎育上最も有効のことである。更に休業中の日誌を記さしむるが如きも上級生徒には有益であらうと思ふ。

●豪雨被害

▼漢江增水一丈二尺 十九日夜來の豪雨にて漢江は二十日午後二時龍山元町四丁目に於て一丈二尺の增水ありたり

▲慶北の豪雨 慶尙北道豪雨あり雨量は尙州九十四粍、善山四十一粍にして醴泉邑內は刻々增水し交通杜絶す（大邱特電）

▲家屋倒壞す 二十日午前三時五十分頃京城勸農洞宋春植にては俄然居宅一棟（朝鮮式平屋建温突四間）倒壞し家族三名は其下敷となりたる騷ぎに鍾路署交番の巡査並に附近の者馳付けて救ひ出したる爲別に負傷せざりし損害約六十圓なりと

▲橋梁流失す 十九日夜來の豪雨にて忠北地方にては無心川增水し橋梁流失の爲め淸州芙江間及び美湖川の增水により淸州鳥致院間は交通杜絶し聞慶郡及醴泉郡地方も諸川增水し道路の破損尠からずと

●天候恢復せむ 鴨綠江地方に副氣壓

十八日午後山東省奧地に現はれたる低氣壓は進行速度極めて緩漫に朝鮮半島に接近し十九日午後に至り黃海より朝鮮中部を橫斷して日本海方面に出でたる爲め朝鮮中部以北國境線に到る間は一帶に風雨強く元山の七十五ミリを最大雨量とし京城の四十八ミリ之れに次ぎ二十日午前に至り

▼天候恢復の兆 ありしが再び鴨綠江下流地方に副低氣壓現はれし爲め直ちに快晴となる能はざれども該副低氣壓は西朝鮮の一部に降雨したるのみにて國境方面にて消失の見込みなるを以て天候は一先恢復するならん猶根本的の天候恢復は目下太平洋方面に在る高氣壓が

▼九州琉球方面 より山東省方面にまで其の翼を延はすに至る後なるべく此の高氣壓の進行前には南西風起りて甚だしき温氣を感ずる事あるも京城市中に在りては四圍の山岳の形狀に由り常に地方風のみ吹くを以て風位に由りて天候の根本的恢復を豫測する事困難なり（所員談）

東京大相撲 仁川

▼盛んな朝稽古 土俵を賑せた出羽ヶ嶽

仁川に來て力士連中はホッと息を吐いたもの、如く朝の內から頻りに稽古がはづむ、七時過ぎから橫綱大關共出揃つた上に

▲幕內幕下一同 殆んど顏を見せて京城以來珍らしく盛んな稽古が行はれた、京城では最負連中に引張り廻されて稽古の土俵に上らなかつた駒泉、鎭西山などの人氣力士が出て烈しい申合ひをしたのが目立つた、何處へ行つても見物を喜ばせるのは出羽ヶ嶽で十時頃から土俵に出て九州山、小常陸、四海波を對手に

▲滿場の喝采を 獨りで浴びてゐた大錦も暫らく稽古を休んでゐたが仁川では盛んに熱心振りを發揮してゐた、栃木山、九州山、小常陸、源氏山、釋迦ヶ嶽等が最もよく働いた、十一時から取組に入る

▼人氣湧くが如し ▽銀行會社等の團隊見物

▲雨の爲め入掛となつた十九日は終日降り歇まず改まつた初日の二十日も朝來怪しい雲行きで九時過ぎには霧の樣な小雨が靜に降つて來たが十時頃からがらりと晴れ渡り好箇の角力日和となつた

▲七時から前日と變りなく朝稽古が始まり八時九時十時と時間の進むに伴れて愈々激しくなり空晴れる頃には大分に實の入つた稽古振りで有つたそして此時已に二千近くの入場者有り場內盛興湧くが如くで有つた十一時半から柝の響きを合圖に勝負始まる

▲棧敷には生徒を引率した熊谷商專校長の制服制帽が光り府廳警察仁川病院などを始めとして銀行、會社、米豆取引所及び仲買人など團體見物を以て埋まり三龍榮亭等の藝妓連も美しい顏を列べて居た

▲十二時前には又々雲行が怪しくなつて來たがそれでも入場者は刻々と殖へて行き緊張した角力氣分は場の內外に充ちて居た

▲二日目の取組

羽州山 綾鶴 朝日山 ●常の花
小島洋 大門岩 男島 成瀨山
●駒泉 逆鉾 四海波 朝綠
一湊 龍ヶ崎 ●栃川 宮城山
大の川 岩木山 小常陸 ●釋迦嶽
稻葉嶽 近江富士 紫雲龍 源氏山
九州山 兩國 對馬洋
宇都宮 栃木山 綾川
大錦
西の海
九州山
栃木山

△本社仁川支局好み

●小兒の睪丸を奪つた怪賊 五名を斬つて捕はる

平南寧遠郡永淸面生れ住所不定の高照秀（三十六）は數年來行衞不明なりしが本月八日永淸面新興里韓鏞方に至り晝餉の馳走を受け立去るに臨み金の無心を云ひたる處折柄韓鏞は他行中にて妻の金丙（四十二）が之を拒絕したるに照秀は有り合せたる薪割斧を以て同女の顏面頭部兩手等に重傷を負はしたるを手初めに二男韓章鉉（十二）も數箇所の重傷三男章錫（二）の前頭部に斬りつけて即死せしめ陰部を斬り裂きて睪丸を奪ひ二女韓金吉（十二）にも輕傷を負はせたる上衣類を窃取して立去り同夜孟山郡詩田面城齊洞高承之方に逃げ込み一泊して翌早朝一先づ立去り次いで正午頃立戻りて一人にて遊び居れる仁浩（八つ）を同里の小川端に誘ひ出し携へゐたる庖丁を以て殺害したる上睪丸を切り取りて逃走したるも十日急報に接したる寧遠憲兵分隊龍潭派遣所員の手に捕はる

●大澤議員判決

長野縣選出代議士大澤辰次郎氏に對する甲信銀行橫領背任罪は十九日長野地方裁判所に於て懲役二年の判決言渡しありたり（東京特電）

●鍾路通の夜市 ▽いよ／＼二十一日から

鍾路夜市は十九日盛大なる開設祝ひを行ふ筈なりしが折惡しく豪雨の爲め簡單なる開設式のみを行ひ二十日は休市二十一日より夜市を開くと共に餘興として既報の如く三組合の妓生全部朝鮮俳優及び樂隊の大行列ある等にて同夜より晴天每夜開市の筈

●十數名の山桃中毒

千葉縣安房郡南三原村高橋和芳外十數名は山桃を食して中毒し治療中なりしも內五名遂に死亡せり（東京）

●煙突から出火

二十日午前九時四十分頃京城水標町四十五番地麵類製造業孫漢甲方温突の煙突より出火し常備消防出動朝鮮建瓦葺約二間燒失したるのみにて同十時鎭火す損害約十五圓なりと

●金剛山遊覽延期

本社釜山支局主催の金剛山視察團は本二十日釜山發夜行列車にて出發の豫定なりしも天候不順の爲め來る八月六日出發に延期したり

●貯水池で溺死

京畿道富川郡桂南面九芝里大塚淸吉妻とみ（四十）及び二女はるゑ（九つ）の兩人は十七日午後八時半頃過般の豪雨にて堤防缺潰したる同面深谷里所在の貯水池の下流を徒涉中兩名共約十四尺の深水に落ち込み母は辛くも泳ぎ上りたるが娘は遂に溺死したり

◎草鞋二十二足で懲役二年 忠北忠州邑內面生れの陰在禹（三十）は窃盜前科二犯あり本年舊正月二十八日夜同面龍山里李鍾昇方に忍び入り草鞋二十二足を窃取し公州地方法院忠州支廳にて懲役二年の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり

□昔を偲ぶ七月會

七月會、妙な會！と思ふも最も千萬である、會員と云ふのか大抵一度命を的に働いた一と癖ある連中だから會の名が妙なのも不審はない其の會の記念日が七月十九日、丁度十年以前の七月の十九日は京城の市中に政變の暴動が起つて其の日の騷亂こそ共に市中には鮮血が漲つた頗る物騷な其の日を中心として國家の爲生死の境に出入した連中の云はゞ思出多き記念會である其れが十九日の午後六時半から本町の淸香園で開かれた會合した人も丁度十九人妙に十九に緣のあるのも妙だ二時間許りは當時の遭難談で持ち切る彼の時に誰か逃げたイヤ實際心細かつた僕の腕の內には彼の時打たれた銃彈が未だ這入つて居るだらう抔の話が出る勿論其の面白い處は鳥渡發表仕兼れるが生きた歷史の參考話が續々さ出た其れから酒宴に移して更に革命家な連中丈けあつて大に飲みメクタ末芽出度解散したが頗る愉快な會合であつた

●軍機漏洩事件 ▽被告十五年に處せらる

[illegible]

▲極秘の裡に 公判を開廷し 處本月初め豫審終結し[illegible]たり今事件の眞相を聞くに[illegible]

軍機を竊取し在營中は巧に之を隱匿し置き昨年末除隊に際し件の賍品を携へて豫て知り合へる橫濱中村町戶[illegible]

▲賣込み運動 を爲したるも 一言の下に刎ね付けられ尙も他に外[illegible]至る迄入廷を禁じ十四日午後より公判を斷行し赤間幸二郎に對しては懲役十五年を申し渡し[illegible]

△一等 石橋友吉、三島静子、同至、同鄕二、外人四名、大原胤夫、勝部庄八 △二等 信藤定吉、同常子、岡部吉、同衛代、同宮男、土肥市藏、島津ちと、松田ちか[illegible]

具くに、伊藤善造、白井長助、山根政一、満田正夫、同いそ、川島賢三[illegible]

▲十九日夜入港對馬丸[illegible]

天氣 曇り
▲七月廿一日（二十日午後六時發表）[illegible]
舊曆六月廿二日
日出 五時二十八分 日沒 七時五十一分
滿潮 仁川 午前[illegible] 午後[illegible]

東京大相撲
讀者優待
割引券
京城日報社
本券御持參の方に對しては一名限り三十錢の木戶を二十錢に割引致候
仁川興行中

自轉車中の自轉車は
輪界の王 ハンバー
祝日露協約

合名會社 橋本商會 神戶三ノ宮町二丁目
京城永樂町二丁目舊商會より二軒下
橋本商會出張所
電話一五七九番

祝日露協約
賜天覽
滿洲發達史
湖南內藤虎次郎先生序 君山稻葉岩吉先生新著
菊判八百八十頁 寫眞版十五葉 玻璃版三葉
天金クロース函入 定價金三圓五十錢 送料二十四錢
東京朝日曰く 著者は滿洲の史的研究を以て當代のオーソリチーたる定評あり、本書の眞價は寧ろ滿洲封禁廢弛後開發の徑路並に滿洲と關連せる東部蒙古問題の諸章にして從來史家未闢の境地を開拓して能く其眞相を斷明せるにあり、今や日支交涉の結果世人の視聽は擧つて滿蒙の問題に集る本書は其根本的智識の源泉なり
時事新報曰く 近代に精しく最も精細を極て叙述したり其考證の多方面にして豐富なる其論斷の的確にして銳利なる流石に蘊蓄深き氏の造詣を傾倒した大著述にして近來史界の大生產と云ふべし
大阪每日曰く 過去二千餘年に亙れる支那滿洲蒙古朝鮮露西亞並に日本この間の葛藤の一大記錄也
實業の日本曰く 前人未發の史實を發表せる少しとせず其精其確其詳に於て蓋し內外滿洲史の最上乘なるもの
發兌 東京 大阪屋號出版部
大阪屋號書店 東京 大連 旅順 釜山 鐵嶺 京城
電話二〇八六番・六八四番 振替京城二五七三番

祝日露協約
和洋紙販賣 印刷製本
朝鮮京城南大門通二丁目
土佐紙株式會社京城支店
電話長三一五番 二二七〇番
電略（一〇一） 振替京城八五九番

祝日露協約
京城古市町一丁目
近藤運送店
電話長六七二番

祝日露協約
淺野セメント株式會社京城出張所
京城黃金町 電話長六六二番
淺野スレート株式會社京城出張所
淺野スレートは强靱なる石綿纖維と數十年間內外に信用を博せる淺野セメントとを原料とし世界に於ける最新最良のロッホ式特許方法に據り製造せし石綿板なり

◎民籍係員が 喧嘩の仲裁

□鮮人民籍法の統計數□

□京城府廳の民籍係にて六月中に取扱つた事件數の内先づ民籍法による入籍を見ると其の中移居といふのが千四百五十二件の大多數

□これは府内に於て土地家屋を所有する鮮人が漸次地價の廉い土地に移つて行く爲めである

□次に鮮人の出生は五百八十九名、死亡は三百十九名、婚姻が百六十三組ある、但し京城府内鮮人全體の一箇月の件數としてはまだ〳〵數に洩れたものがあるかも知れぬ

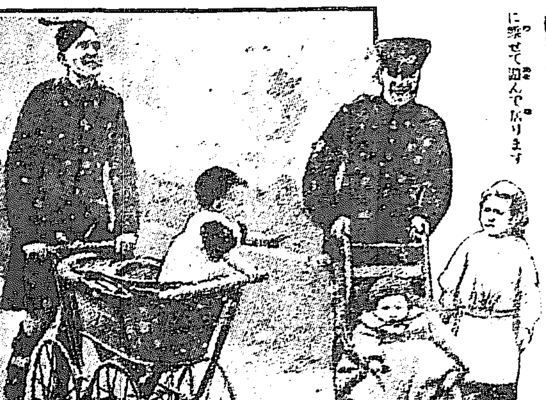
□また改名といふのが八十四件あるがこれは朝鮮の人には幼名と冠名とがあつて十六七歳の元服頃になると改名する爲めである

□改名には木火土金水の順序で文字を選ぶ習慣があり例へば父が土の培なれば子は其の次の金にあたる鉦の字を附けるが如きである

□また内地の家督相續にあたる「襲更」の件數六十一件あるが朝鮮では内地の如うに戸籍上の隱居がない

□次に分家は四十一件、一家創立二十三件、廢家十六件、入家十二件あるが入家は内地の養子縁組に當る

□猶ほ離婚數は廿四件、原因は多く生活難や夫の家長に對する嫁の物儀等で中には一時の夫婦喧嘩から府の民籍係に詰めかけ係員の仲裁で圓くなるのもあるといふ



□物好きな子守 戰の間に加奈陀兵が傷病兵の子供を乳母車に乘せて遊んで居ります

い時でありますが此の間は學校の規律的生活から離れて家庭の自由な生活に這入りますから或る程度の規律を守らせるのが必要となります

○現に秋の九月の新學期になりましても一週間許りは本當のお稽古にならぬことが多いのでありますがこれは一種お休み中の遊び癖が附いた爲めでございます

○其れで家庭に於てもなるべく規律正しく勉強させることが必要で單に學課のみならず早起や運動なども規律正しく行はねばなりませぬ

○殊にお菓子なども時間を定めて與へるやうにしませぬと第一衛生上にもよろしくありません

◎なまけるな

△暑い盛夏も……▽

◎暑中休暇は生徒にとつて洵に樂しい時であります

暑中休暇中の大切な心得

□夏は惡い病氣が流行ますから御用心□

◇此の廿一日から愈よ暑中休暇となりました、お休み中皆さんの注意しなければならぬことは先生からお聽き及びの通り次のやうな事項です

◇第一睡眠の心得を申しますと、毎朝なるべく早く起きて冷水摩擦や深呼吸をすること、夜は遲くも十時までには床に就くやうにすること

◇眠りの足りぬ時は精神や身體が弱りますから一日には必ず八時間以上眠ることと晝寢うたゝねは不可ません

◇就床時は必ず寢卷を著け腹を冷すとか寢冷をしてはなりません、蚊に刺されると往々マラリヤに罹りますから必ず蚊帳の中にお休みなさい、また寢卷は度々日光に曝し時々洗濯をなさい

◇次に運動はお休み中でも怠つてはなりません併し危險な遊びはお避けなさい、運動は清潔で草木のゆるところがよい、遠足などには必ず番湯または白湯の冷したものをお携ちなさい

◇さて飲食は最も注意しなければなりません、先づ生水は水道の水でも飲むではならぬ、未熟の果實や腐敗したものを飲食しては不可ません、過食や間食はお腹を傷めます

◇生魚、蝦、蟹、章魚、生野菜はなるべくたべぬやう、また蠅の足には恐ろしい病毒がついて居ますから食物には附かぬやう御用心、氷水、ラムネ、みかん水なども注意が肝要

◇寢る前には總て飲食してはなりません、食後または就寢前には必ず口をすゝぐこと

◇入浴は一日に一回是非必要、興行物などには行かぬ方がよい、爪を剪ることと髪の手入も大事です

◎また生徒の身體も若いからとて放縱にして置けば猶は氣がゆるむと共になりますから其處を氣も心も引締めるやう一定の日課を與へることが必要です

○唯だ單に寢たり遊ばせたりするのみでは決して兒童の鍛錬になりませぬ（日出小學校長河合先生談）

◎廣島高師生の動靜 去る十二日京城發金剛山探勝に向ひたる廣島高等師範學校の一行は教授野村彥四郎先生外學生六名共十九日元山より京城に歸着せるが一行は金剛山の風光が豫想以上に雄大なるに驚き來年の夏期休業には是非共大隊にて觀光すべく同時に金剛山に關し學術的研究をも試むべしと語れり

一番茶のあこ

象は眠るとき立つたまゝで寢入る△馬も同じく立つたまゝ首を垂れる△鳥は總じて首を尾の方に向け嘴を翼と胴との間に入れて眠る△鶴のやうな長脚の鳥は片脚で眠る△鴨は水上で片脚を絶えず動かしながら眠るこれは片脚でかくためグル〳〵と圓形に廻轉るから岸邊に近寄らない爲めの用心である△蛇の鼻は眼瞼の上に薄い膜がまじる△狐や狼は鼻と手足の平を合せ房なして尾で卷いて眠る△兎に蛇に魚類は眼を開けたまゝ眠る

だいどころ その日〳〵

□鳥肉吉野あげ 鷄肉などうす庖くそぎ上等の醤油に三十分間程つけ込み置きて片栗粉を兩面によくまぶしごま油の煮立ちし鍋に入れて揚げ知し大根などそへる（青木はつ子）

神社こ教會こお寺

○金光教會（和泉町） 廿日午後八時卅分より月例祭あり式後説教あり

婦人界消息

△河野稔（櫻井小學校訓導令息）十九日夜赤痢にて死去葬式は廿日午後六時高野山別院にて執行

△菅田きよ子（西本願寺婦人會幹事）菅田寶次郎氏母堂きよ子氏は腸て病氣療養中のところ十七日逝去、葬式は二十一日午前十時本願寺にて執行

△土井夫人（日井小學校訓導夫人）腸チフスにて入院中

◎高女の修業式 南山町京城高等女學校にては廿日午前修業式を擧げたり

◎中學講習會 府内普通學校及び小學校における内地人教員講習會は來る廿二日より向ふ十日間京城中學校にて開催

◎豊原訓導退職 日の出小學校訓導豊原太郎先生は今回病氣の爲め學校をお辭めになりました先生は去る四十四年以來學校に勤められた方で洵に惜しむべきことでございます

○石原校長の講話 南大門小學校にては二十日午前中修業式を擧行し校長先生より第一學期成績及び休暇中の心得に就き一場の講話あり、尚ほ休暇中生徒の日課としては印刷したるものを與へ上級生には主として家庭の手傳を爲さしむる由

商況

東京株式特電

二十日 前場寄付		大引
日本郵船	三一、〇〇	三一、七〇
東京電燈		
鐘紡	一七五、九〇	一七五、九〇
日本石油	一五六、九〇	一五六、〇〇
東株新		
東株第一		
東株第二		
東新第一		
東新第二		

債券現物特電

二十日 川東産價段 （前日との比較）	
大阪瓦斯	一六一、〇〇

公債直取引特電

二十日川東産價段（前日との比較）	
五分利	八一、七〇

深川在米特電

二十日前場	三一、一三七 五九、七、六一 一七、八二、一三

東京期米特電

二十日前場	
七月限	一四、一〇二
八月限	一四、〇二一
九月限	一四、二二

大阪株式特電

十九日後場	前場
大阪株	[illegible]

大阪三品特電

十九日後場	
七月限	一三七、四〇
八月限	一三七、五〇
九月限	一三七、六〇
十月限	一三八、〇〇
十一月限	一三八、〇〇
十二月限	一三八、〇〇

大阪期米特電

二十日前場	寄付	引
先限	一二、九九	[illegible]
中限	一二、五四	[illegible]
當限	一二、八二	[illegible]

下關期米特電

二十日前場	先限	中限	當限
寄付	一三、八〇	一三、六九	一三、八〇

雜報

◎紙類稍良好 紙類は從來の不況の影響少なく殆ご持合の姿に經過したるも昨今時代の推移及び内地市場は共に紙質主因は時局の前途の商況を反映すると共に和紙類は三月以來の不況より脱し漸次回復の傾向を見せつゝあり

◎洋紙類稍氣配は良好 今後漸次好轉の傾向あり

◎濠洲方面露國方面は注文引合

到來し居りて商談活氣を呈し

◎工藥類區々 硫酸の生産は各製造元に於て盛なるも需要者側の態度は區々なり

額の增加を計る

禁止と云ふが如き逆効を呈したる爲め漸次在荷品の停滯を大ならしめ引いて市價の過落を誘導し最近の内地相場は百封度に付き三圓七八十錢唱へと云ふ去月末の相場に比すれば約半額の安値を發するに至りたり

●正米の今後

正米は年の川鮨し設の高かりし關先南鮮地方面の水害及び仁川定期渡米蔥集等の材料と關聯して地方の人氣を煽ふり各地の市場の廻米を益々稀薄ならしめ本月上旬の勢ひは一時那邊迄相場の奔騰を促がすべきかを疑はしめしが此の間三日來釜山を初め沿海地方一帶に稍々看看味を帶じ相場も多少引弛み來りしのゝ如し之れ相場の品質により必需口に一巡米の行渡りたる結果ならん大體か各方面共に在來の缺乏ざる事は今日の出盛が殆ご端境期に於けるご同樣の狀態にて之を例年より見れば本年四五日頃より常に約二圓月許り前次其期を早めつゝあると内地米及び鮮米の輸入の必要を以つても容易に得らるべし此頃を以つて追ふ時は或は新米の出廻り時期を早めて果して然るべき存在をなしとせず

◎綿布續て引締む

地の綿布市況は依然の如く昨年の同時期に比し賣行悉く不振なるも最近の材料にて大阪綿布相場は十八日の二十九日五圓高に次いで十九日も十錢高

一二錢五厘高の入電

◎前途は次第に樂觀

◎明太魚昂騰

明太魚は産地の相場高に連れ昨今賣行き好況にて

圓五十錢乃至二十四圓五十錢乃至一圓五十錢乃至三圓方の騰貴

◎粉米は好勢

注文好況

近頃內地の粉米は元山方面の注文好況なる爲め移出口は殆ど

田中商店

電話 一六二八番 二五一

下關相場

朝鮮白米も堅調を持續し依然内地米との比較上頗る割高にある折柄とて一般の賣買は活潑ならず其後市況は不振なるが一方地方の産地は何れも依然として不況にて高値を唱へ居れり

▲大豆は格別の變化なく
▲小豆は頗る好況にて

各地商況

○大邱（十九日の穀物）各地共米か依然高

▲朝鮮一等白米	十四圓十錢
△同	十四圓二十錢
△同二等白米（當用）	十四圓三十錢
△同	十三圓九十錢
△慶州種臼大豆	十二圓七十錢
△新義州大豆	十二圓七十錢
△同	十一圓二十錢
△元山大豆並上	十一圓三十錢

▲正米（鐵嶺）

▲二十日前場

大阪天候晴

仁川期米

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇五番 電信略號 送呈

四錢高の入電

二節八十五錢と小高き移り大阪四節九十二錢と高移り九十八錢

▲尙高移り

仁川米豆取引所

二十日の九月限

前場		平均値段	
寄付	十二圓二十三錢	一節	十一圓十三錢
止め	十二圓二十三錢	二節	十一圓二十二錢
高値	十二圓二十錢	三節	十一圓二十二錢
安値	十二圓二十一錢	四節	十一圓二十一錢
出來	四千石	五節	十一圓十三錢

賣買取組高	
七月限	五萬五百石
八月限	二萬七千石
九月限	三萬九千石
後場前日と比較	一四高

仁川現物市場

仁川玄米	二三五叺
黄州小麥	二四叺
鳥致院大麥	二四〇叺

△正米入津同斷
△大豆入津同斷

釜山穀物市場 十九日

▲正米（十銭） 本日の朝期米相場は小口の取引のみにて一向に買人なく

生魚市場

近來仁川物の外殆ご見るべき荷なし

南大門の廻穀

沙里院小麥	二二四叺
黄州小麥	三九叺
興水小麥	二九叺

京城正米

天候未だ全く恢復を見るに至らず依然賣物も出盛に至らず

三巳仲買店

京城米豆取引所仲買人 海岸町一丁目 電話三三二二番 電信略號

市場零聞

▲更に動かず

大阪の跡高を受

反つて一錢と下這ひ

釘付の儘散會

▲市場氣乘薄

天候相場の本領を發揮

依然として見送り狀態

花見相場を現出

增證據金等は準備出來居

▲土用入こ天候

土用の上順は見越

夏相場の本領を發揮

兎角天候不良

此節の保合

嫌氣を催

▲變動機近し

祝日露協約

花月

京城 電話 五七番 三三〇番

祝日露協約

大倉組

京城出張所

祝日露協約

京城本町二丁目
日露貿易商 青木商會
電話 二三八〇番

祝日露協約

▲良品は經濟なり
▲我社の製革は强靭にして舶來品を凌ぐ

朝鮮永登浦
朝鮮皮革株式會社

京城南大門通一丁目 電話一〇八二番
朝鮮皮革株式會社販賣部

▲我社の製革は堅牢にして耐久力に富む
▲而して其價格は頗る低廉なり

祝日露協約

京城明治町二丁目
㊀キ
京城魚市場
電話一四七八番電略（キ）

一等兵曹秋田縣南秋田郡旭川村赤館三郎（三九）は爾來數箇月間審理中の院信號同番國下瀬綿末火藥等の重要國家の威信を妨ぐるものなりて新保和平治（三）を巧みに引入れて歸化英人辯護士小林米珂に裁判長は之が公開を避け延丁の末に

◉連絡船上陸客 十九日朝入港高麗丸二三等客

黃海北部▲低氣壓示度七百五十粍位置進行方向東▲警戒區域平安南北道成鏡南北道の沿岸及び內陸

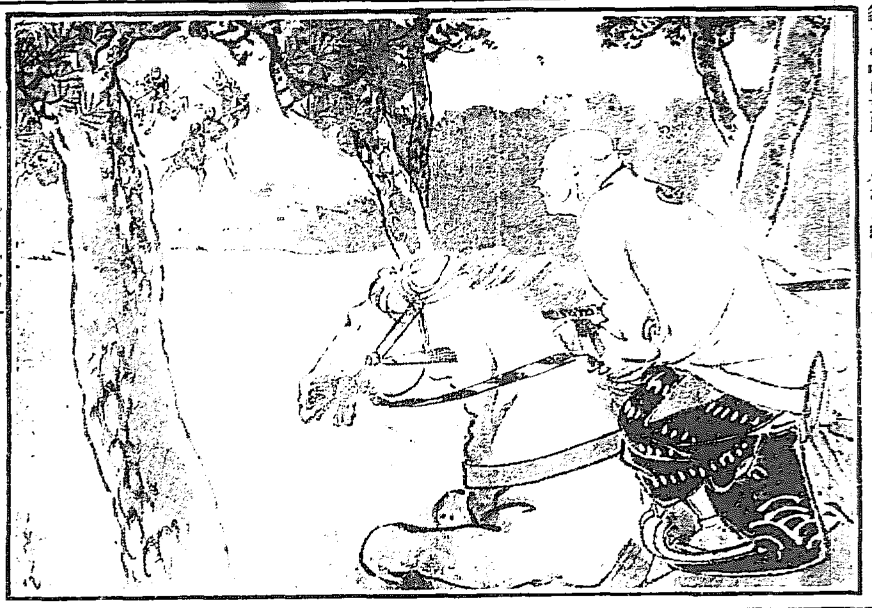
報

宮本武藏

第百五回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

澤田一角の通知に依つて道場に集る面々は松田軍次郎、吉江九十九、大島亘、四天王と稱したる者を初めとして其數百五六十人、三千人といふけれども、そんなに集りません。澤田一角が大勢集まつた所で件の決闘狀を見せると何れも大に怒つて、我々がために恩師の仇、宮本の首を取つて師の鬱魂を慰さめねばならんと忽ちの中に支度をして夜の明けるを待つ、此方は宮本先生其晩は御酒を飲んでユックリ寢る、天下の豪傑は異つたもので明日決闘といふ場合に寢られるものではないが、腕が据つて居て物に動じないからグッスリ寢ました、明六つの鐘と共に床を離れ、朝飯を食してスグに支度を致し、旅宿を出で井芹川の堤へ遣つて來る、堤の中央まで來て見ると向ふの方に白地に四ツ目結の紋打たる大幕を打廻して大勢の人數が集まつて居る樣子、武藏先生ニツコリ笑つて、靜かに近く進み『武「其所に控へたるは岸柳の門人共か、斯いふ拙者は小倉藩小笠原右近將監の家來當時浪人宮本武藏正名であるぞ、師岸柳の仇を討たんと思ふ者は來て尋常の勝負に及べ』と大音に呼ばつた、ソレツといふと最前から幕の内に於て待構へて居りましたる岸柳の門人、澤田一角が先に立つてバラ／＼と躍り出で、宮本の周圍を押取卷き『奇怪なり宮本、何故あつて我師岸柳先生を討つたるか、非は固より汝の方にあり、然るを兎角の言葉を以て罪を我等の方に置かんとする、夫已ならず無法にも我師岸柳先生を討つ卑怯とや言はん奇怪とや言はん、此所へ來るこそ幸ひ、飛んで火に入る夏の蟲我々の刄の下に速かに落命いたせ』と口々に呼はつて一刀拔連れ切つて懸る、宮本武藏カラ／＼と打笑つて『武「此期に及んで言葉爭ひ無益なり、片端より撫斬にして死骸の山を築き呉ん』と則國の一刀スラリと引拔き、眞向に振翳る『ソレ各々八方より押取圍んで容赦なく斬つてお了ひなさい』『○心得ましてござる』と松田軍次郎、吉江九十九、大島亘を初めとして、釟尾孫作、田沼五平太、西川彌次郎、加治木惣八、雨宮三左衛門などいふ岸柳門下の豪傑群り立つて斬つて懸る、ソレ喧嘩だ決闘だといふと見物雲霞の如く、尤も側へは來ないが遠くの方を取卷いてワイ／＼騷いで居る、井芹川堤に於ては戰場の如く宮本も固より斬死する覺悟だ、幾何宮本が劍術の名人でも百五十人に取卷れては叶はない、此所に於て討死と見へたる所に、ハヨオー／＼ハヨーッと聲を懸けて砂塵を蹴立て此所へ乘込んで來る一人の老人、跡に續いて若侍十四五人何れも刀の鯉口を寬げ息を切つて飛んで來た、眞先なる老人、馬上ながら大音上げ『ヤア／＼者共、何者なれば上を憚らず御城間近の所に於て斯る狼藉をなし、喧嘩の法に及ぶ、鎭まれ／＼ッ』と制止の聲を懸けた、之れ何人なるかといふと當熊本の城主細川越中守忠利の家來、家老上席を勤める長岡監物といふ細川名代の老人、數馬生の豪傑後に續くに何れも細川家中の若侍、腕利のものばかり、老人始め勢の眞中へ馬を乘入れ、九尺柄の槍を持つて叩き立てる、岸柳の門人之れは堪らんと八方へ逃出した、之れを逃出すだらう槍を頭の上で振廻されては堪らない『監「見受る所汝等大勢にて一人を對手として眞劍勝負をなす、武士の情として見遁し置く譯には相成らん、何故なるか仔細を申せ、拙者を何者と思ふ、長岡監物であるぞ』其頃長岡監物といへば飛鳥も落す勢ひ、監物といふ聲を聞いて一同固まつて了つた、若侍が『○御老體彼所に居りますのは澤田一角、此方は松田軍次郎、吉江、大島皆な佐々木岸柳の門人でございます』『監「ハヽア岸柳の門人か、して對手とする者は』『武「アイヤ其對手は拙者でござる』と前へ進んだ宮本が『武「拙者は豊前小倉の領主小笠原右近將監家來當時浪人宮本武藏と申すもの』『監「ハヽア小笠原の宮本といへば當時有名の御人だ、其宮本氏が岸柳の門人と何故あつて眞劍勝負をさつしやるか』



御料理 あら玉 龍山元和歌の家跡（電話三八番）
夏の會席は涼しき風情き漢江を一望に受けて座席のよいあら玉に限る
漢江遊船團體御註文を取り特に勉強仕候

皮膚科
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目（旧元町）
佐藤醫院（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

七月二十二日九星 舊六月廿三日 戊申 木命 七赤 西除

演藝案内

黄金館 電話二八五二（階上）二六三七（階下）

御成座 壽町 電話二九一 大悲劇女心 喜劇令孃の改心 全六場

第四回目連續大寫眞 初日滿員御禮 ハートの3 松之助延一郎合同劇 舊劇騒動柳生新六郎 日活代理店 大正館

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

浪花館 明治町 電話二一六〇番 東京落語三遊亭遊三一行來る

十二指腸蟲病 水田藥院 大邱府東城町 電話四六三番 説明書は往復葉書に申込次第進呈

新築中と雖も營業はいたします 何卒御ヒーキに願ひます 京城新町 汲月庵 おとく敬白

廣告
日露協約締結に付府民一般衷心の意を表する爲め左の方法に依り祝賀會擧行致度候間御贊同の上至急御申込被下度候
一、會場 仁川小學校雨天體操場
一、日時 七月廿二日午後六時
一、會費 金五拾錢
一、申込所 仁川商業會議所
大正五年七月十九日
日露協約祝賀會發起人代表者 久水三郎 奥田貞次郎
追て當日午後七時半より提灯行列擧行可致に付（小學校運動場（集合））御參集相成度尤も提灯は當會に於て分與可致候

本日出發の際は御見送を辱ふし難有奉存候右不取敢御禮申上候敬具
七月二十日 人見次郎

ビスケット カメヤ 京城本町二丁目

りん病 消渴で困る方多年の持病者も治療して逆迄れす
自宅にて人知れず安全秘密に良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報ず
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

原料香水 オリヂナル 宮内省御買上品 香水中で一番よい
三越吳服店 白木屋吳服店 其他有名小間物化粧品店に販賣 御注意偽物あれ
東京水天宮前 本舗 安藤井筒堂

祝日露協約 京城新町遊廓組合員一同

祝日露協約 京城南大門通 御國式洋式 泊宿食 ファミリーホテル 電話一二一八番

祝日露協約 京城運輸組合

祝日露協約 機械器具輸入製造販賣 重石水鉛買入 合資會社 高田商會出張所 京城南大門横 電話長二四二番

祝日露協約 內國通運株式會社 京城支店

祝日露協約 總督府御用達 並に表具製作材料品 京城永樂町二丁目 一石川辰次郎 電話一一八七番

祝日露協約 綿糸布商 京城…釜山…群山…木浦 元山…大邱…平壤…鎭南浦 高瀬政太郎商店

祝日露協約 京城南大門通一丁目 北村皮革直輸入店 店主 北村貞太郎 電話一八四六番

祝日露協約 醬油釀造元 高杉京城出張所 京城南大門通三丁目 電話九百四拾六番 電信略號（タカ）又（ス）

祝日露協約

京城材木商組合（いろは順）

京城府岡崎町	石崎材木店	電話二八五五番
京城府古市町	堀內商會	電話二二六一番
京城府明治町	北方支店	電話一九四〇番
京城府黄金町二丁目	金正材木店	電話一四八番
京城府岡崎町	大二商會	電話二〇九〇番
京城府古市町	熊野商會	電話一八二番
京城府黄金町	丸一材木店	電話一二三八番
京城府旭町一丁目	小森商店	電話七四四番
京城府岡崎町	三幸洋行	電話二一六五番
京城府二村洞	貴田材木部	電話龍山五三七
京城府岡崎町	清水製材所	電話龍山五三番
京城府岡崎町	平井商店	電話二一七八番
京城府黄金町三丁目	木材商會	電話四二八番
京城府岡崎町	須川材木店	電話四三四番

祝日露協約 ●本店 東京 ●支店 橫濱、京都、大阪、博多 ●出張店 名古屋 ●出張所 上海、大連 合資會社 清水組京城出張店 京城南山町三丁目 電話三四九番

祝日露協約 京城南山町一丁目 森勝次 電話一五六番

第三版　京城日報　大阪

廿一日朝刊(夕刊と合せて八頁)

發行所 合資會社 京城日報社　京城太平通一丁目

京城日報
歐洲戰局

今春世界識者は六七月の交を以て、敵味方の大決戰行はれ、之に依りて戰爭終局を告ぐべしと爲す、而して今乃ち獨軍のヴエルダン攻擊あり、露軍の墺洪軍攻擊あり、本月一日より、英佛聯合軍ソンム地方に於て攻擊を開始し、既に敵の第一線第二線を奪ひ、第三線に迫れるあり、敵味方の氣勢今日を以て、其高潮に達せるものと云ふべきなり。

以上三大戰鬪に就て之を見るに、獨軍のヴエルダン要塞攻擊は、事開始以來、既に四箇月にして、僅かにヴエルダンを距る三哩半の地に達し得たりと云ふに止り、其を攻陷するは、果して何の日にあるべきか、多分陷落することなくして已むべし又露軍ガリシアより墺洪軍を追擊して進む、一時は疾風の落葉を拂ふが如き勢ありしも、今は敵味方相對峙して動かざるの狀あり、獨り英佛聯合軍のソンム、アラー地方の活動は今僅に其端を發したるだけにて聯合軍の志圖甚だ大なるものあるを以て其の大功を將來に期待すべき理由あり。而して今日の戰鬪は、其勝敗まこと砲彈軍需品の供給力に懸りて存するの實あり、是れ英佛露諸軍數は、實際に之を經驗し來る所にして、此度の西方戰線に於ける活動は、即ち昨年以來の準備に出るや論なく、特に英太利は昨年以來、其兵員も充實し、砲彈軍需品を製造する爲めに、全力を傾倒して十二分の計を成し、此に此度の攻擊を開始せる次第なれば必ずや勝算甚だ明白たるものあるべし、且近報英軍の今月初一週間に於て、ソンム地方に發射したる砲彈三百萬發を越たりと云ふ是れ其の二十哩に涉る敵の陣地を攻擊して、忽ちにして第一線第二線を奪ひ得たる所以にして、畢竟砲彈の力に依りて勝を制したる爲に外ならず。

或は歐洲列國民既に戰爭に倦みて平和回復を望むこと甚だ切なりと稱するものあり、果して然るや否や知る可からずと雖、一昨年八月開戰以來、既に滿二箇年に達して、戰爭は未だ其要領を得ず、兵員日に其死傷を積み、軍資月に其消費を嵩む、農商工諸業の打擊亦莫大なり、何れの國民たりとも、故らに戰爭を長引かして以て快と爲すものはなかるべしと雖も、既に戰を開きたる以上は、其目的に到らざれば已むべからず、特に今日の現狀にては、連合國民に於て得るところなく、此儘和を講ずるが如きことは、寧ろ始めより戰を開かざるに若かず、英佛軍若しにして獨軍を突破し了り、其をして本國內に敗退せしむるあらば、此に初めて眞面目に講和を云々するを得べく、若し不幸にして、此度も中途にして止り、復た大に進む能はずして已まば、又々退いて砲彈軍需品の製造及び兵員の補充に日月を費やし、其準備成るを待ちて、再擧するの外なく、從つて戰局の前途は、猶ほ多くの未知數を含むものと思惟せざるべからず。

北滿及沿黑地方の市況(上)

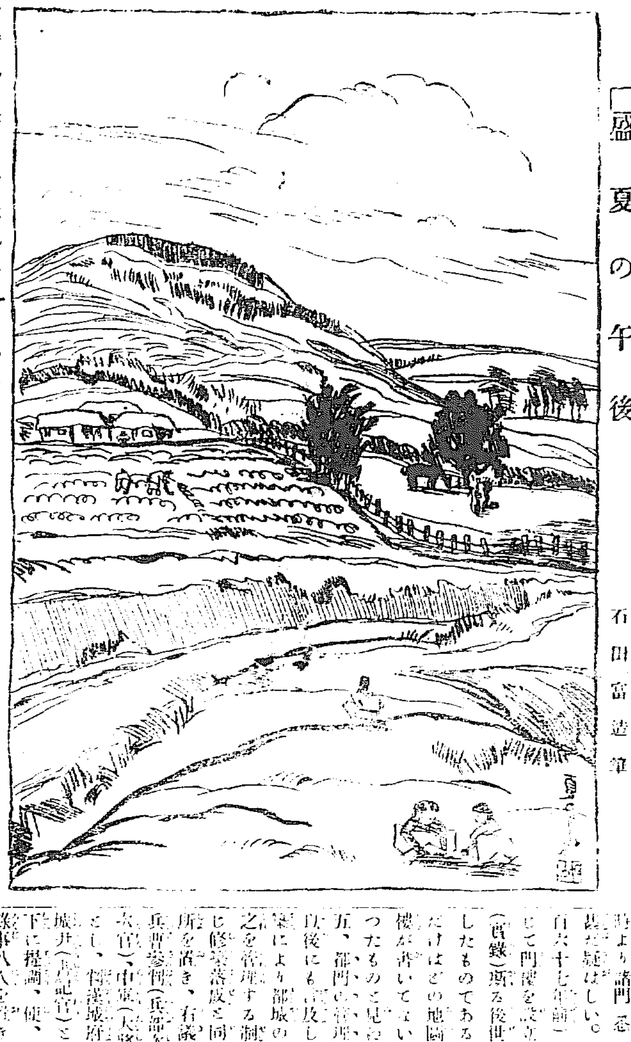
近著の哈爾賓時報は滿洲及び沿黑龍地方の市況に就き述べて曰く。歐洲動亂の勃發後滿洲及び沿黑龍地方に於ける獨逸の商勢力は遂に拂掃されたり、兩地の市場は即ち獨逸人の勢力より脫するを得たるなり。然れども之が爲めに兩市場は空虛となり、此の空虛を充塡せんが爲めに新に商戰の幕を開けり。而して其の最初に舞臺に現はれたるは即ち日本人なりとす。日本人は其の創意を逞しくし發展せしむるための精力を注げり。乃ち自國產の貨物を此の地に輸入し始めたるも日本商人の最初の試みは成功せざりき。何となれば日本人が輸入したる貨物は土地の需要に適せざりしなり。露國に於ては在來も各種の日本品の流通を見たりしが、其は悉くハンブルグの商人の手を經て露國に輸入されたるものなり。而して日本に於てはハンブルグに向つて發送する莫大なる貨物は殆んど露國に輸入さるゝものなる事を知らざりしなり。從つて日本人は如何なる種類の貨物が露國の需用に適するやを知らず、其の當面の結果として日本人の最初の對露輸出貿易は全然成功を見る能はざりし。然れども日本人は其の執拗と頑固とを棄てざる可らず。日本の商人が躊躇て別種の貨物を携へて北滿に現はれ、其の無識に基く最初の誤算を償ひ、以て北滿沿黑地方市場を獨占すべく其の全力を竭すべきは何等の疑を容れざるなり。然りと雖も北滿及び沿黑地方市場の需要を充さむには日本人のみの力を以てしては尚ほ未だ及ばざる憾あり。是は現時日本工業界の發達の程度に鑑みて歸納せらるゝ斷定なり。換言せば現今日本の工業界は甚しく粗製濫造の弊に沈湎し、且つ日本の工業は未だ範圍狹小にして日本の商工資本をして昔が極東の市場を占有せしむるに足る可き或る方面の生產業に就いて全然之を識らざるなり。是を以て米國及び英國の商人等は昔から極東の市場に對して深甚なる興味を抱き、密接なる利害關係を保つ次第たり。極く最近に至るまで露米間の商業關係は未だ多くを期待し得ざりし狀況に在りて米國產貨物の沿黑地方及び北滿に輸入さるゝものは甚だ僅少なりしなり。然るに今や氣運は急轉して露國極東の英米商業關係は日を逐うて益々密接と成り米國商品の沿黑地方に輸入さるゝもの逐次增加し又沿黑地方產原料品の對米輸出も將に順調の道程に入らむとす。歐洲動亂一度び其の局を結ばむか、斯る創始的事業は愈々其の範圍を擴大し以て生產力に富める君が極東將來の經濟的發達の基礎と成るあらむ。

其の價値如何
東清南半線と松花江航行權

哈爾賓より大連の或向に達したる消息に據れば日露新協約締結と共に東清鐵道南半部の讓渡は哈市在住露國人に歡迎され居らず其は其の讓渡が東清鐵道の不振を招き經濟市場として哈爾賓の消費區域を縮少し商業的に尠少ならざる影響を及ぼすべしとの杞憂より來れるものなるが居住日本人は當初の期待の餘りに大なりし爲め其の反動として稍々失望し居るの奇現象を呈せりと

▼讓渡線の價値　に就ては之を過大視するものと過小視するものとあり近は何れも偏見たるを免れざるが元來老少溝以南の線路は、經濟上非常なる價値あるものに非ず物資集散地域が第二松花江を越えて遠く哈爾賓に延長せばイザ知らず現時の儀にては此の讓渡線のために增加すべき物產は一年約十萬噸乃至十五萬噸の大豆位なるべく消費市場も僅に窰門あるのみにて大勢を動かすに足らず又老少溝には露國に於いて其の要塞を築き平素と雖も其の監視嚴重なるを以て此地全部を讓渡と共に日本に割與するや否や疑ひなき能はず若し單に此地の一停車場地域のみに限らるゝものとせば其の價値益々減却せらるゝ譯にて之を過小視するも誤なれど過大視するは最も可ならずとの說あり

▼松花江航行權　も問題なり松花江全川とせば價値大なるも老少溝停車場附近を割與地域と認むると共に第二松花江のみの航行權とせば余り多くの期待をなす能はず猶此の一帶の流域には幾多の險所ありて航行自由ならず加ふるに支那の官船あり多くの營利的民船あり此間に日本の航運業者が割込みて果して幾何の利益を收め得るや疑問なりとの一說あり(未完)



□盛夏の午後　石田富造筆

城壁文學　小田省吾
(其二)京城都城の諸門

三、敦義門(西大門)最近に撤毀されて其遺跡もなくなつたのは如何にも殘念な氣がする、京城の舊跡中の尤も惜しむべきである。此の門は前身は西箭門であつたが世宗の時に此の門を閉塞して敦義門を設けたことは前項に話した。然るに太祖實錄等に初めから敦義門と書いてあるのは、同實錄が世宗の時に成つたものであるから其の時の名に依つたものと見得る。又太祖實錄にあるのに西大門、東大門といふ俗稱は載せてない。此の門は世宗の時新に開いたから俗に之を新門といつた。其の第一の證據としては西大門址の南側城壁に『新門上末』(新門城壁の始の意)なる文字が殘つて居る。第二の證據としては前に引用した芝峰類說(今より約三百年前)に正西曰敦義、俗呼新門とある。第三の證據は今より二百十餘年前の肅宗實錄三十年二月の條に『自西蕣至新門』の文字があるから(西蕣臺は今は牛首峴といふ漢陽公園の西口を少し上つた所)此の時にも俗に新門といつて居つた事が解る。由て西大門といふのは非常に後に起つた俗稱であるに相違ない。次に西箭門と敦義門との位置の關係は今尋ぬべき由がないが、東大門なる鐘閣道を一直線に延長して西へ開いた迹ではなかつたらうかとも想像する。

四、其の他の諸門。先づ位置に就いていへば、正北の肅靖門は燕山君實錄十年七月の條に此の門を閉塞して其の右(東か)に新門を作るとあるも、外別に移動したことを見出さぬ。名稱に就いていへば、東小門の本名は太祖の時弘化と名づけたが、成宗の時(今より四百三十五年前)に建てた昌慶宮(今の昌德宮の東)の東門を弘化門といつたので、中宗の時に今の名の惠化に改めた(東國輿地勝覽)西小門の本名は太祖の時昭德といつたが、睿宗の諱(名)に觸れたので(成宗實錄)之を昭義と改めた。又門の上の樓(やぐら)に就て云へば、南大門、東大門、西大門の外は太祖の時より諸門悉くあつたのであるか甚だ疑はしい。英祖十九年(今より百六十七年前)に樓無き處には什して門樓を設立せしめたとあるから(實錄)斯る後世になつて始めて完備したものである。(併し正北の肅靖門だけはどの地圖を見ても暗門式で樓が書いてないから此の門にはなかつたものと見得る。

五、都門の管理　以上の記事は世宗以後にも言及したが、世宗朝の大修築により都城の面目を一新するや、之を管理する制度を定める必要を感じ修築落成と同時に城門都監なる役所を置き、右議政(內閣員の一人)、兵曹參判(兵部次官)、工曹參判(工部次官)、中軍(大將の次)を以て頭總制とし、漢城府尹(漢城府知事)と漢城少尹(同上次官)とを都監の幕僚とし、其の下に提調、使、副使、判官各四人、錄事八人を置き、此等の人をして十日毎に一次都城の內外を巡察せしめ一定の形式により上層に報告せしめたものである(世宗實錄)(諸門各說完)

京日詩壇

○漁村春夕　安永　春雨
沙岸春潮。釣磯縈藻萍。日斜楊柳渡。煙暖杏花村。呼買沽酒醉。登樓酌紅燈。不辭乘鶴客。微醉答天恩。
評曰　饒有清閒之致

○漁村春夕　富澤　雲堂
雨岸桃花散晚風。飛來點水水流紅。漁翁一醉放歌處。春月模糊瞬網中。
評曰　詩中有畫

○蔚山捕鯨圖　富澤　雲堂
追者乘風激浪。北者噴潮潮沖天。驅逐縱橫如試戰。成功偏在日出前。長鯨身忽浮出。漁大踴躍齊叫號。誰對此圖不呼快。筆又雄渾色彩鮮。熟視思詩命酒謠。酣醉未成枕之眠。勞勝絕海孤島夕。朔颶凛烈雪翩翩。疾走快艇速於鯨。欲屠巨鯨我爭先。大呼覺來眞耶夢。夢魂猶繞蔚山邊。
評曰　詩筆亦縱橫

▲依然動かず

▲大阪續て高し

二十日の九月限

謹告

大正五年五月三十日以前弊社代理部發行の書籍券所持の御方は本日より向ふ三十日以內に相當書籍と引換方御申出で相成度同期日經過後は斷然無効と可致候條此の段謹告候也

大正五年七月十七日　京城太平通一丁目　京城日報社代理部

廣告

日露協約締結に付府民一般歡喜の意を表する爲め左の方法に依り祝賀會擧行致度候間御贊同の上至急御申込被下度候

會場　仁川小學校雨天體操場
日時　七月廿二日午後六時
會費　金五拾錢
申込所　仁川商業會議所

大正五年七月十九日　日露協約祝賀會　發起人代表者　奧田貞次郎　久水三郎

追て當日午後七時半より提灯行列擧行可致に付御參集(小學校運動場へ集合)を乞ふ尤も提灯は一千個に限り當會に於て分與の準備致居候

は非常線を張り犯人を搜査せしも未だ逮捕に至らず尚朴は同日午後十一時死去せり

實業之日本

□夏の大讀物
□離念一掃法
□南洋實見記　新渡戶博士
□組織的協力
□興奮した時
□三菱重役三井三社員の月給高

七月十五日發行　實業之日本社

海員募集

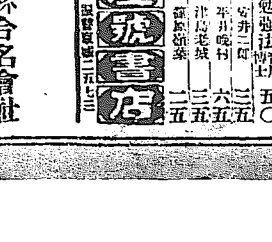
幼年世界編輯部編
全部十二冊毎月一冊刊行
大判美本毎冊全部色刷挿畫五十個
幼年繪話讀本
正價各冊貳拾五錢　郵稅各四錢
はじめてできた　幼年繪話七月讀本
サア／＼早く御覽なさい、暑中休暇の讀物には之に越した物はありません。面白いお話、爲になる記事、科學の事、博物のこと、動物植物のこともあります。坊ちやんも孃ちやんも、これは好い御本だとお喜びになるでせう。
東京本町　博文館

幼年ポンチ
大判石版全部極彩色及木版刷　正價各廿錢　送料各四錢
木村小舟君著
(第十五編)とんち爺さん
(第十六編)おばけづくし(最新刊)
既刊
●汽車活動●飛行機活動●いたづら小僧●凸坊の夢
●軍艦活動●茶目の泣面●けんか大將●凹んぼ征伐
●ポチと三毛●笑ひの先生●自働車活動
●ハイカラ君●おしやれさん●びつくり箱　以上
此次は　海坊主　魔法使ひ

少年日本歷史讀本
文學博士 萩野由之君著
●17 安土城　18 海上の偉人　最新刊
一 天の浮橋　二 大國主命　三 天孫降臨　四 橿原の宮　五 三種の神器　六 新羅征伐　七 厩戶皇子　八 屋島壇の浦　九 天平時代　一〇 菊水の旗風　一一 保元平治　一二 源頼朝　一三 鎌倉武士　一四 足利義滿　一五 應仁の亂　一六 武田信玄
全十八卷完成　毎冊百頁　各冊廿貳錢　郵稅各四錢

新刊書御案內
書名　著者　定價
◎日本帝國美術略史　帝室博物館　四八〇
◎鑛產物工業分析法　船木勝二　二八〇
◎實地鐵筋コンクリート工學　瓜生清一　一三〇
◎國定讀文詳解及取扱方　一八〇
◎小學校農業教授の實際　吹田・奧井　一〇〇
◎倫理學の根本問題　阿部次郎　一二〇
◎維新二千五百年史　八〇〇
◎受驗參考漢文詳解要說　池田四郎次郎　九〇
◎乃木院長記念錄　學習院輔仁會編　特一二〇
◎タゴール生の實現　中澤臨川　七〇
◎凡人淨土　相馬御風　六〇
◎タゴール聖者の生活　吉田絃二郎　五〇
◎實驗より割り出したる腦を害せぬ勉強法　五〇
◎ポケット季寄新辭典　三五
◎西鶴文粹　一二〇
◎クライブ傳講義　安井二郎　三五
◎曾我兄弟　平井晚村　六五
◎信濃の山　津島芳城　三五
◎箱根心中　篠原嶺葉　二五
京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三
大阪屋號書店

品質の優秀は
最後の勝利を獲得し
絕對の信用を博し
宮內省御用酒
攝津灘新庄家 醸造元 若林合名會社
特約店 京城本町三丁目 山本富之助商店



西侯出盧の意を漏す

原總裁別邸に於ける各領袖の會見　西園寺侯に內閣組織を慫慂す

十八日相州腰越の原敬氏別邸に於ける各領袖並に西園寺侯の會見に就ては何等政治上の意味なしと打消し居るも密かに聞く所に依れば此日席上に於て原總裁は過般三浦子爵邸に於て行はれたる三黨首會合に就き大體の經過を述べ次で山本達雄氏元田肇氏交々時局に關する意見を陳述し西園寺侯亦時局に對する抱負を語り相互腹藏なく意見を交換し最後に原總裁は大正の政局が今日に至るも混亂に混亂を重ね居るは大正の初めに當り西園寺內閣が不條理なる顚覆を敢てしたる結果に因るものなりされば今日の時局を收拾する者は宜しく西園寺侯ならざるべからず之れ憲政の要義なり侯にして再び政友會總裁たらずとも政友會を率ひ同主義の政治家を抱擁して其の局に當らば天下の人心翕然として集まり人心を一新する事必然なりと說き他の領袖も槪ね之が意見に同意したり而して西園寺侯は自ら野心あるが如く思はるゝは不愉快なれども起たざるべからざる時機に到らば健康も恢復したる故起つ事有るべしとて希望の一端を漏したるより一同其意を諒とせり猶寺內伯內閣を組織せば如何との問題も出でしが纏りたる意見も無く散會したる由なり（東京特電）

日露交涉案件進捗

東淸鐵道松花江問題は支那の承認を求めたる後發表

日露新協約に附屬して略ぼ進捗せる東淸鐵道第一松花江寬城子間及び沿線附屬地の讓受問題及び松花江の航行權問題は其の後兩國に於て細微の點に就き協議中なるが大體結了せるを以て一應支那政府の承諾を求めたる後發表せらるべく又日露間に交涉せられつゝある某要件も大に進捗せる趣なり（東京特電）

熱誠ある兩國の交驩

佛國大統領の英國代議士饗迎

英國の領土及び植民地の代議士二十三名より成る一行は十七日巴里に到著し佛國大統領は十八日朝一行をエリスイ宮殿に招待せり大統領は熱誠を以て一行を迎へ佛國及び各自の代表する英國領土及び植民地間の障壁除去せられ兩國間の思想は永久に一致すべき旨を述べたり外務省に於る歡迎會席上ブントリア選出議員ルース氏は佛國の目下の戰鬪に對し驚くべき準備を沈著に遂行せる事實及び自由正義の爲めの戰鬪に佛國の擲ひたる犧牲に對して贊辭を呈せり佛國首相ブリアン氏は眞價ある英國植民地の兵士等が世界の自由の爲め流せる血潮に對して感謝と賞讚とを禁ずる能はざる旨を述べり（巴里特電）

軍務院未了事件と善後策

十八日の國務會議にて軍務院に於ける未了事件は唐繼堯、岑春煊責任を以て辨理し一切の善後策は軍務院に關係ありし各員に依り共同負擔し軍隊の一部は解散一部は普通軍隊に編入することに決せりと（北京特電）

敵軍狼狽損害多大

露軍騎兵隊の出現注目に値す

露軍西部戰場全體に亘り露軍は敵に對し重要視すべき作戰上の打擊を與へたり露軍はストリッパ河にて美事に敵の抵抗を壓伏しソカルに對する戰鬪を發展せしめサーニー！、コヴエル方面に接近しつゝあり同方面に於ける多大の損害の爲め敵は頗る狼狽し豫備隊を彼方此方に動かしつゝありキムポラン地方に於ける露軍騎兵隊の出現は大に注目に値すべく同隊は二日間の前進に依りカーパシアン山脈を越ひてフランゲルの背後に出づべし（露都電報）

○工場法案報告　[illegible]

○選擧法[illegible]

[illegible]議

[illegible]會ありしと（東京電報）

○國民黨委員會　[illegible]

モ氏渡日使命

モリソン氏は十八日北京より奉天著二十日朝安奉線にて日本に向へり氏は支那の新政局に對する日本の意嚮を探知する使命を帶ぶるものゝ如し（奉天特電）

張督軍病む

奉天省督軍張作霖氏は數日來病氣にて一切面會を避け政務は副官をして代理せしめつゝあり（奉天特電）

閉鎖漁區開放交涉

本野駐露大使は露國沿海州の袋網用解禁及び閉鎖漁區の開放に關し豫て露國政府に對し交涉を重ねつゝありしが右の中袋網禁止は主として魚族の絕滅を防がんが爲めなれば撤廢は不可能なりとて拒絕せられしも閉鎖漁區に關しては露國政府も我が要求を諒とし實地調査の上十九個所の漁區中各區の距離八哩以上を隔てたる九個所だけは之を解禁すべしとの意嚮を洩したるに依り右は近く解決の運に至るべしと（東京電報）

財政要案

武富藏相の會談　日銀重役會議

大正六年度豫算編成に當り最重要視せらるゝは今後の公債政策にて現內閣成立當時標榜したる非募債主義は現下の實情に適せざるは勿論是迄蓄積せる鉅額の正貨處分策として現に實行中の內外債借替への如き將來必要に應じ施設すべきものゝ少なからず一方軍需品賣却に關し與國に對する財政的援助の必要對支借款問題等公債政策を併せて考慮すべき財政經濟上の重要案件あり武富藏相は十九日午後二時濱原次官、神野理財局長、三島日銀總裁を大臣室に招き會談一時間餘にして同三時卅分三島總裁は辭去し更に日本銀行に於て重役會議を開きたり（東京特電）

朝鮮工廠新設費

朝鮮砲兵工廠新設費は猶ほ陸軍省豫算に計上されざるも近く具體案を作成の上餘國へ讓渡すべき軍需品代より支出すべき豫定なりと（東京電報）

寺內總督動靜

寺內總督は兒玉總務局長同伴にて十九日午前國府津驛著直ちに藤屋ホテルの自働車にて古稀庵に山縣元帥を訪問し晝餐を共にし夕刻箱根に登り宮の下藤屋ホテルに當分滯在する由（東京特電）

將星湘南に集る

寺內總督は既電の如く十九日山縣公を小田原古稀庵に訪ひ其の儘箱根宮の下に赴きたるが二十日には加藤同志會總理も大磯別莊に赴き大隈首相亦二十一日より國府津の別莊に避暑する筈にて將星悉く湘南に集まれり（東京特電）

澁澤男愈引退

澁澤男は先年來實業界引退の意ありし爲に多數關係の諸會社と關係を絕ち自ら創立せる第一銀行とのみ關係を續け來りたるが今回第一銀行頭取をも辭する事となり愈々來る二十五日の同行總會席上に於て之を發表し其の後任には同行の現專務佐々木勇之助氏を推薦する事に決定し同男は顧問の名義にて同行との關係を續くる由（東京特電）

岡中將の葬儀

男爵岡陸軍中將臨終の際は令弟岡大尉令息春雄氏其他親近の人々枕邊に侍し中將は安らかに永き眠に入れり葬儀は二十二日午前八時信濃町自宅出棺青山齋場に於て佛式にて營む筈（東京特電）

林公使赴任期

駐支公使林男爵は八月四日に東京驛出發赴任の途に上る事に決定したり同公使は二十日午前八時三十分汽車にて山縣公を小田原古稀庵に訪問せり（東京特電）

軍司令官著春

井口軍司令官は隨員六名を從へ二十日午後五時春川著官民學生、在鄕軍人愛國婦人會員等の出迎へ盛なり（春川特電）

鞍山站製鐵所位置

滿鐵會社にては日支合辦の下に鞍山站鐵鑛の採掘に著手すると共に社直屬の下に製鐵事業を開始することに決定し居れるが其の製鐵業は採掘に從ひ順次製鐵する程度のものにて初より大規模の經營をなすにあらずして其の製鐵所の位置は未だ決定せず遼陽在住邦人は遼陽に該製鐵所を設けんことを熱望し曩に日實業會を催し其の下に市民大會を開き請願書を地方事務所經由にて滿鐵本社に提出することに決し追ては運動委員を大連に派すべく非常なる意氣込を呈し居れるも滿鐵會社にては採掘區域を何れにすべきやすら未だ決定するに至らざる今日製鐵所の位置を定むるが如きは時期猶ほ之を許さずとの理由にて遼陽市民の請願にも明確なる意思を表示せざる有樣なれば果して何れの地點に設置せらるゝや今のところ頗る不分明なり（大連）

[illegible]國技師四平街に著し測量を開始せり

[illegible]の報あり（長春電報）

全北水害と農作

李全北道長官談

全羅北道長官李軫鎬氏は井上參與官を隨へ入京山本旅館に滯在中なるが往訪の記者に語る

▲水害善後策打合　今回の上京は水害善後策に付總督府當局と協議の打合せをなす爲めなり其內容は當時の炊出し救助並に水害田復舊費として下附せし種籾及び家屋の倒潰に對する救助金等非常に多額に上り到底本道目下の豫算にては不足なるを以て其の補助を求むるを主とす何分種籾の交付は八百石に上り家屋の流失全潰五百餘戸半潰約七百戸に達するに付家屋一戸五圓平均とするも其額は僅少ならず加ふるに國費支辨の一二等國道を除き三等道路の水害のみを見るも概算十三萬圓に達し之れに使役する人夫賃を金錢に換算すれば約十萬圓を要す此方面の修理費も到底道地方費豫算のみにては非常の不足を感ず此の方面の打合せをも今回十分に盡し行くべし

▲米產百萬石乎　本年全北の米作豫想調査に依れば植附面積十一萬三千餘町歩にて平年より約六千町歩の水害減となり居れり尤も此の六千町歩に大雨後七月二三日頃迄に播種せし籾の發芽非常に迅速にして昨今既に七八寸に伸張し格好の挿秧苗となれるに付目下各地共植附に忙殺しつゝあり結局之等の成育狀態如何なるべきか良否は一に懸つて今後の天候にあれど專門家の觀測にては平均五分作は慥ならんとの見込みに付道內全部の米產は百萬石を下らざる豫想なり殊に浸水を受けたるも減水速やかなりし水田の稻苗は伸張分蘖共に意外に見事にて此方面よりの增收少なからざるべしと信じ居れり

▲麥の減收と農民　唯刻下の問題は前述被害者の救助と麥を流失せし窮民の今秋迄に於ける喰繫ぎなり麥が平年通りの收穫ある端境前後は農民の食料に困する者も尠し然るに本年は麥作六分減に付慘狀を來すは想察するに難からずこれが救助は諸工事の著手に依る人夫使役に求めたきも各方面萬遍なく之れを行き渡らしむる事は仲々の困難なるが予等の苦心を費やしつゝある所也

[illegible]披露の盛宴を催すべし▲祝賀會準備員とし庶務係奥田氏外四名會計係[illegible]

[illegible]仁川商業會議所にては二十一日午[illegible]

[illegible]田中（佐）氏外五名會計係に稻田[illegible]

[illegible]驛著にて著任すべし▲アーク燈寄附[illegible]

[illegible]電氣會社仁川支店にては二十二日[illegible]

[illegible]成立祝賀大會申込者は二十日迄締[illegible]

[illegible]二百餘名に達したるが何れも續々申込[illegible]

[illegible]病者は殆んど毎戶に在りと[illegible]

[illegible]して死亡率は患者の約[illegible]割にして罹[illegible]

下水可決

府協議員會の答申

京城府協議員會は二十日午前十時半より開會下水溝開設問題に就て諮問せる由は夕刊所報の如くなるが諮問の結果大體に於て全會一致贊成を爲せる由なり當日提出されたる議案面には工事を第一期、二期とし第一期に於ては七十萬圓第二期に於ては八十萬圓を支出し全工程を終ることゝなり居り今回開會の協議員會に諮問せるものは其第一期分に屬するものにして工費七十萬圓中京城府は大正六年度より毎年四萬圓宛向ふ四箇年度間に十六萬圓を支出し其他は國庫及び地方費の補助に仰がんとするものなり而して前記十六萬圓の支出方法は起債增稅共に行はず府の經營せる屠獸場の收入又は居住民の增加に伴ふ自然增收等を以て充用せんとするなり然るに府協議員中に右は負擔等に就て顧慮を要するに至る可きを以て寧ろ此際進んで全工費百五十萬圓に對する補助金其他一切の件を舉げて決定し置くの必要なきやとの意見出で一同之に贊成し當日の協議員會は全工費に對する贊成の答申を爲して午後二時散會したり、尚ほ谷府尹は今回の協議員會は單に工費の支出方法に就て諮問を行へるのみにて設計に關しては追て協議會を開き諮問する筈なりと語れり

地方費の決算

大正三年度の地方費決算を見るに、歳入は經常部百三十一萬一千四百九十五圓、臨時部百六十一萬九千二百六十七圓合計二百九十三萬七百六十二圓を算し、歳出は經常部八十六萬一千二百四十圓臨時部百六十四萬九千五十四圓合計二百五十一萬二百九十四圓にして差引殘額四十二萬四百六十八圓を計上せり其の歳出入狀況左の如し

歳入

科目	金額
地方費賦課金	一、二八四、二九三圓
地稅附加稅	一七、一四一
居住稅	四七三、五二七
市場稅	二〇四、八〇二
雜收入	三四、〇四二
前年度繰越金	三〇一、四四二
國庫補助金	一、二七三、五三四
寄附金	三七、四五四
計	二、九三〇、七六二

歳出

科目	金額
土木費	六九九、三五六圓
衛生費	六七、六〇八
救恤費	八、四五一
勸業費	四六二、七二二
教育費	一五四、〇三九
補助獎勵費	一、〇四三、〇三〇
地方費取扱費	六九、四〇一
雜費	五、七〇五
計	二、五一〇、二九五

北鮮地理實査

駐劄軍司令部附參謀松井少佐は地理實査の爲め二十四日朝龍山出發北鮮に向ひ來月十三日歸任の筈なり

木曜會講演

京城木曜會は來る二十七日京城ホテルに例會を開き阪出總督府技師の興味ある歐米視察談ある由にて今回は特に有志の參會を歡迎すべく希望者は藤川稅務課長矢野遞信課長の兩氏に申込むべしと

鎭南浦砲兵檢閲

駐劄軍司令部附松尾砲兵大尉は鎭海灣重砲兵大隊第二期檢閲の爲め二十三日龍山發二十八日歸任の豫定なり

人事消息

▲北島谷平氏（青森縣會議員）　入京中の處二十日朝退京

▲佐々木淸麿氏（釜山辯護士）　入京中の處二十日夜退京

▲水田包雄氏（青州監獄典獄）　入京中の處二十日退京

▲中川喜之助氏（大邱覆審法院長）　入京中の處二十一日朝退京の豫定

▲橋本豐太郎氏（木浦府尹）　二十日夜入京山本旅館へ

▲岡田愛知氏（久原鑛業技師）　入京中の處二十日夜元山へ

南言北語

久しく病床中にあつた岡中將も遂に薨去した▲中將が萬難を排して增師計畫を遂行した事はたしかに將軍の功勞中特筆すべきものであらう▲將軍も亦非常に痛快に感じて居たらしい▲危篤の病床にあつても增師を斷行して既に師團長の補職まで見た以上は今死するとも遺憾は無いと見舞客に語つて居たと云ふ▲實際將軍は增師には非常に盡力したもので其の一例としてこう云ふ事があつた▲一昨年の夏首相官邸で開かれた防務會議の時などは當時首相を始め加藤若槻等の連中は何とかして一年位延期させようとした▲處が將軍は憤然として多くを言はず若し來年から著手せなければ帝國の國防は缺陷を來す▲されば陸軍當局は責任を盡す事が出來ぬの一點張りで誰が何と云つても聞かなかつた▲若し內閣が之を容れなかつたなら無論瓦解したのであつたらう▲斯う云ふ人であつたから何の批難もない好將軍であつた▲而して何處迄も軍人式で病中でも友人などが轉地療養を勸めると▲イヤ吾輩は未だ山へも海へも温泉へも行つた事はない行ても退屈だらうと思ふから矢張り自宅で療養する事に決たと▲而も其の家は手狹な借家だつたので見舞客の軍人中には大分顏を赤くした人もあつたと云ふ▲將軍は煙草が大好きで十歲位の時から大きな煙草入を腰にブラ下げてスパ〳〵やつて居たと云ふが其の時代には大分茶目式を發揮したものだ相な▲好將軍を失つて洵に惜しい事だ。

◉本日總督府公文錄附添付

第二期同講習　池坊生花講義錄　師の口授せて手づから教はると異ならず短期速成最新式通信教授古來の秘傳口授も悉く明かにす規則見本送料郵券二錢送れ　●東京四谷須賀町　●日本華道[illegible]

明治三十年資本金五百萬圓を以て營業開始せし横濱火災保險株式會社の姉妹會社として明治四十年三月十五日資本金百萬圓を以て開業いたしました而して昨大正四年度末迄の事業成績は左の通りであります

契約高　壹千九百貳拾貳萬貳千六百五拾七圓

諸積立金　貳百八拾七萬貳千五百五拾六圓四拾八錢

大正四年度の積立金　四拾六萬九千貳拾五圓七拾九錢

横濱生命保險株式會社朝鮮出張所

本社　横濱市太田町三丁目五〇番地

出張所　京城黄金町二丁目　電話長一八一〇二三番

役員發起者　社長　[illegible]　專務取締役　[illegible]　取締役　[illegible]　大株主　[illegible]

特に當會社は相互會社と株式會社との特點を折衷したる最も斬新なる保險組織にして會社の利益の有無に關はらず確定配當を致します

日韓書房　新版報告

横山健堂著　高杉晉作　定價一圓　送料十二錢

西村眞次著　努力の跡　定價四十五錢　送料八錢

幸田露伴著　西鶴文粹　定價一圓二十錢　送料十錢

碧梧桐著　日本之山水　定價一圓二十錢　送料十錢

大日本料理研究會　美味衛生安價料理五百種　定價八十五錢　送料四錢

京城南大門通二丁目

消毒石鹸　アルボース

内科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話專用二七二九番　三一三番

品質卓絶中味豊富　優等清酒

攝津灘魚崎　醸造元　大塚醸造所　各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候　京城南大門通二丁目　發賣元　大塚京城支店　電話四七〇番　振替口座五〇七番

診察時間　自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中　京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）　シメノウチ齒科醫院　電話八二二番

[illegible]二十六日更に[illegible]を召集附議し決定を見たる上八月上旬を以て愈々之を公布す可しと（東京電報）

[illegible]遞地方[illegible]原警保局長より改正案に就ての說明ありたる後議事規則を附議し同六時より一木內相の晚餐[illegible]

● 四鄭線測量開始（東京電報）

四平街鄭家屯鐵道敷設の爲め日支兩[illegible]

[illegible]長拔露[illegible]下田、森千八[illegible]長は二十一日午後六時より仁川の重立たる官民百餘名を八阪樓に招待し[illegible]

[illegible]準備に就き協議する筈なるが二十日府尹會頭協議の結果擧行[illegible]組合及び會議所評議員全員を準備委[illegible]

[illegible]仁川寺にては住職大島玄瑞師[illegible]任後暫く缺員となりゐたるが今回久納師任命され三十一日午後一時[illegible]

[illegible]ク將十數を寄附する外[illegible]趣向を凝らして參加すべし▲祝賀會[illegible]申込二百名[illegible]仁川に於ける日露協[illegible]

[illegible]鴨綠江對岸新安縣[illegible]方は目下赤痢及び天然痘流行し[illegible]猖獗を極めつゝあり[illegible]

□日露協約祝賀會 ——朝鮮ホテルに於ける——

◉敦睦輯和、歡喜溢る

日露協約祝賀會——（熱誠なる露領事の祝文 一大歡樂場を現出す）

永遠に將來の親和を確保せん

既報の如く京城に於ける日露協約祝賀會は二十日午後七時三十分より朝鮮ホテル大食堂に於て開催せられたり降りみ降らずみの空模樣にも拘らず午後七時を報ずる頃より馬車、自動車、腕車等堵の如く

南北の大路より 集り來り忽ちにして休憩所、バー、喫煙室等の待合室は會員を以て充ち滿たされた、軈て定刻に至るや合圖の振鈴と共に會員一同は徐かに導かれて大食堂に入る食堂は無數の電燈甍を欺き日露の大國旗をリボンを以て結びあげたる窓每には七彩美しきモールを張り窓柱には各々

數臺の蠟燭形の 電燈華やかに點せられて居る天井には日露の國旗飾縱橫に張り渡され調和よく配列された純白の卓上にはダリヤ、夏菊、プラタース、金盞花其他の樣々の盛花紅紫取々に飾られ其の間に行燈の灯風雅に點もされ綵光彩花に見る目まばゆきほどであつた中央の大卓には

主賓露國總領事 ルッチエ氏副領事ケフトレル氏を始めとし山縣政務總監、大島、石塚、荒井、國分、池田、寺佐美、松永の各長官、立花師團長、古海總長、小宮次官、野田副總裁、小松翰長、水越理事、原田朝郵社長、李完用伯、趙重應子著席し此中央大卓を圍繞して無數の卓子には

在京城の主なる 官民を網羅し其の數三百三十餘名と註せられた露臺より響き來る吻喨たる奏樂と共に祝宴は開かれた、眩ゆき灯影、匂ひやかなる花の中に主客相寛ぎての歡談室に充ち渡りて一種の合奏を爲し一大歡樂場を現出した酒三行にして原田朝郵社長

發企人側を代表 して祝詞を述べて曰く『日露兩國は東洋に於て强土を接し東洋に於ける利害一致して將來相提携すべき運命を有す今回兩國の間に協約成る之れ極東に於ける兩國の利權永久に保障せられ又東洋永遠の平和を將來に確保する處の協約として兩國民の欣快に堪へざる處である、茲に京城官民

有志協約祝賀會 を開くに當り露國總領事及び山縣政務總監立花師團長の御來場を得たるは本會の爲め一段の幸ひとする處なり』と述べ著席するやルッチエ總領事英文の祝辭を朗讀し小松翰長起つて總領事の祝文を譯述して大略次の如く述べたり『日露協約に就て日本內地の各地に於て斯くの如く盛大なる祝賀會を催せられたるを見れば

如何に日本國民 が此の協約に對し深き同情を持つて居るかと云ふ事が窺ひ知る事が能きる又我露國に於ても今回の協約に對しては深き同情を以て各地に於て祝賀會の催しが有るといふ報知有りたり、日本の萬歲と云ふ事は一萬年といふ事であると言ふが兩國の親善は

斯の如く永遠に 親和であらん事を祈る』と述べ次で一同起立の裡に莊重なる『君が代』の吹奏あり總領事ルッチエ氏日本語にて『日本天皇陛下萬歲』を三唱し三鞭を擧げて一同之れに唱和し次に再び喨喨たる樂は露國々歌を吹奏し終つて山縣政務總監『露國皇帝陛下萬歲』を三唱

一同之れに唱和 して著席す次に金谷府尹起つて大隈首相、石井外相、駐日露國大使に宛てたる左の祝電を朗讀し滿場拍手して之れに贊同を表したり

在京城重なる官民本日朝鮮ホテルに於て日露協約祝賀會を催し茲に滿腔の熱誠を以て協約成立を祝し併せて兩國民の益親善たらむ事を祈る

駐日露國大使宛

在京城重なる官民本日朝鮮ホテルに於て日露協約祝賀會を催し茲に滿腔の熱誠を以て協約の成立を祝し閣下の盡瘁を感謝す

大隈內閣總理大臣宛　石井外務大臣宛

祝電の朗讀終るや再び

歡樂の聲堂に滿 ち和氣藹々何時盡くべしとも見えず松永道長官、野田副總裁、小松翰長は次の如く席上吟を試みた

○心より歡び交す夏の宵　松永 松琴

○涼しさよ清き心の握手哉　野田 大塊

○夏木立一き和亭夫婦まつ　小松 霞南

斯くする間に餘興場開かれ日鮮藝妓の手踊等ありて一段の興を添へ午後十時散會したり

噫岡中將

▼將星殞つ

識慮高邁俺近眞面目　惜むべき好個の將軍　立花將軍談

岡中將發表の報を聞へて大勢事に將軍を訪へば病中か應接室に出で『岡中將が到頭死んだか長くは無からうと思はれたが……』と嘆へとして語る

岡中將とは士官學校教官時代に一緒になり其後日滿戰役の際には軍は違つたが蓋平附近で出會した、役後中將は參謀本部に入り專ら動員、召集の事に任じ現行の動員召集に關する規則は殆んど中將の手により完成せられたと云つてもいゝ位だつたので陸軍部內では

◆動員博士と言 はれて居た位、更に陸軍省に轉じ軍務局長から次に官進み遂に大臣となり今日に及んだが頭腦緻密且明斷參謀本部及び陸軍省內の總ての事務に精通し殊に經理局の事に明であつた資性極めて溫厚又非常に親切で能く人の世話をなしたが一旦慾うと決心した事は必ず貫徹しないでは措かぬと云ふ氣象もあり次官時代など大臣に可成

◆强硬な意見を 述べた事などあつたと云ふ要するに恪勤精進誠實決して外見を衒ひ大言壯語虛榮に憧るゝ如き事は無かつた極めて地味な極めて眞面目な當世容易に發見する事を得ない當世らしからざる人であつた故に積極的意見なども世間往々ある論者に對しては不滿を抱かれたけれども總ての事に遺漏、落度なく陸軍に關する事務確實に進捗した如き全く中將の賜物で殊に增師問題喧騷に際し議會に出でて諄々

◆誠意を披瀝し て軍機に觸れざる限り何等腹藏なく語りし如き恐らくは國民も其誠意を見出した事であらう增師問題の議會通過も中將の熱誠の與つて力ある事と思ふ。要するに何だ明石、福田乃至我輩等の樣に宇內の形勢や支那問題を提へ論じて東帝國の國策がどうの慾のと論じ立てる樣な處は更に無い人であつた誠に陸軍部內惜しい人物である

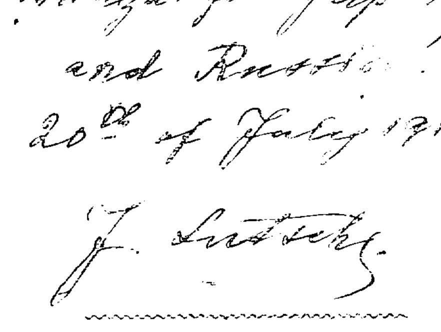
◉海賊船を拿捕す

去る十一日復州管內長興島なる李寶亭方へ十五六名の匪賊來襲し金品を奪ひたる上李同主外二名を人質として金州管內鬼島まで五萬圓持參すれば生還せしむべしと言ひ去りたり此の報に接せる金州署にては平野警部以下警部補二名巡査五名巡捕二十名にて捜索隊を組織し匪賊の所在捜査中の處十六日朝七時同隊は匪賊の乘り居る一の戎克船を發見し此れに近付きたるに船內の者共右往左往に走り廻りて武器を携したれば捜査隊は抵抗せば射殺すべしと信號し武器を棄て、捜査船に移乘せよと命じたるに賊は少しも抵抗せず賊九名及び傭員六名は捕縛したるも外の數名は折納[illegible]潮なる淺瀨を傳はりて馬家屯子方面へ逃走し同[illegible]外一名の人質は無事歸宅する事を得たり猶ほ戎克には七一ゼル銃彈丸百七八十發外被害品七包外四點ありしと

◉農民の大爭鬪

重輕傷者數名を出す

本月十六日午前十一時頃京畿道振威郡仁炭面道日里農民約三十名と安城郡元谷面上下佳川里農民約六十名との間に約一時間に亘り大爭鬪ありたり最初佳川里の者が道日里の十七歲なる美少年一人を拉し行きたるより之を取り返さんとしたると又一方には農旗の順序爭ひことより端なくも紛爭となり道日里の者は少數なる爲め衆寡敵せず重傷一名輕傷六名を出したるが所轄官憲出張して解散せしめたり水原支廳より翌十七日檢事[illegible]



本社員の請に依り露國總領事ルッツエ氏の自署せる日露兩國親善萬歲

◉火焰中で悶死

本月十五日午後五時頃平北宣川郡深川面古軍里車伸旭方溫突焚口より發火し折柄の强風に煽られ家人は外出し仕事中にて同人抱金振玉一人留守居し居り遂に二棟を燒失し同五時四十分鎭火せしが金振玉は火焰に包まれて燒死し損害約六十圓なりと

◉油斷のならぬ保險の契約

被保險者は警戒せよ——●保險會社の德義問題●

京城本町一丁目居住松本榮次郞及び同[illegible]きの兩名は過般加古辯護士を訴訟代理人と定め京都市に本店を有する[illegible]生命保險株式會社京城出張所長[illegible]を相手取り保險契約

▼金二千五百圓

の請求訴訟を京城地方法院に提起したるが其理由は原告の長男[illegible]（死亡當時四歲）を前記[illegible]出張所長の手を經て二千五百圓の生命保險を契約し其の第一回の拂込金を終へたる後長男は病死したるより保險金の請求をなしたるも之れを左右に托して支拂はざるより之の訴訟に及びたるものなるが之に對し會社にては安住辯護士を訴訟代理人と定め保險金の請求は本店所在地なる京都地方裁判所に提起せよとの防訴の抗議をなしたる結果原告の請求は裁判所の管轄外なりとの理由にて請求却下の判決となりたり仍て更に原告は京城覆審法院に控訴したるが

▼其審理の結果

は本店は京都市に存する保險會社にして京城出張所長は本店の使用人たるに止まり[illegible]なれども支配人又は法律上本店の代理人たるの資格に於て[illegible]保險契約をなすの一般代理權を有せず[illegible]に附與されて居る[illegible]なく[illegible]本店の營業に對して取次的の[illegible]補助をなすに過ぎず依つて右の保險契約は出張所長の權限超越行爲たるを[illegible]之を追認せざれば[illegible]に本店は之を追認せざる[illegible]時に一方に於ては會社側の請求なる防訴抗辯は理由あるものとして原告側の控訴は棄却となりて又復敗訴に歸したり

◉出獄して橫領

京畿道江華郡府內面新門里井秀[illegible]（二二）は昨年仁川地方法院支廳にて竊盜及び文書僞造罪により五箇月の懲役に處せられ服役中恩典に浴して先般出獄したるものなるが又復他人の金品を橫領したる事發覺し直に江華署より檢事局送りとなる

▼場內雜觀

仁川の大相撲は前日の雨で濕つて仲買人連の盛んな彌次振仁川商業生徒の綾川贔屓[illegible]

東京大相撲　仁川

▼初日の勝負

仁川に於ける東京大相撲は二十日午前七時より開場同四時四十分打出したるが初日の勝負左の如し

勝	負	勝	負
深川	女の浦	若常陸	錦洋
若戸山	唐錦	大港	長門洋
江戸櫻	能代川	紀の川	博秀山
若津川	立錦	立昇	羽州山
鎮西山	綾鶴	玉柳	男島
小島洋	朝日山	扇柳	大門岩
常の花	一湊		

▲中入後

逆鉾（だし）成瀨山　龍ケ崎（より）駒泉

朝緑（こみ）稻葉嶽　四海波（より）宮城山

若木山（なげ）梅川　近江富士（こみ）小常陸

大の川（おしだし）紫雲龍

源氏山（だし）九州山

宇都宮（なげ）兩國

綾川（なし）釋迦ケ嶽

大錦（こみ）栃木山

西ノ海（しりみ）對馬灘

▲本社支局番外好み

宇都宮（うっちゃり）源氏山

◉元山の大相撲

東京大相撲一行は廿一日仁川打揚げ同夜同地に宿泊二十二日午前七時十分の列車にて仁川出發同八時十三分龍山驛着約一時間半待合せ同九時四十三分發の列車にて元山に向ひ二十三日より開場の筈なるが元山よりの電報によれば同地の前景氣素晴しく十八日頃より正面棧敷賣切の盛況を呈し居れる由

[illegible]

讀者文藝（一等には十錢 他は記念券を呈す）

△俗謠題『湯女』

○山の青葉に啼く不如歸聞きにお越しと湯女の文（一等）　木浦海岸通三丁目　岩神ヤスシ

▲燃ゆる思ひにわく湯も湯女の戀が冷むれば水となる　京城　A B 生

▲可愛い湯女故一日延びる病癒して又病　平康　桑西 穩波

▲めついようでも溫泉宿の湯女の戀路は水くさい　龍山　岡本小春子

▲君の姿に想ひをかけてせなに浮名を流す湯女　京城　浪之助

▲湯女の情に浴りも延びて每夜々々に染まる肌　京城　爽竹 桃

▲浮名流しの湯女程つらい嬉し情けも驕の涸れ　龍山　綠郡 洞

▲惚れた弱味か可笑しや湯女の掛け湯泉にする　仁川　都志 萬郞

題	締切	發表
加藏振り	二十日	廿二日
川柳題『櫛』	同 廿二日	同 廿四日
一口噺題『喧嘩』	同 廿三日	同 廿五日
指め輪	同 廿四日	同 廿六日
謎『夕立と掛けて』	同 廿五日	同 廿七日
狂題『蟲』	同 廿六日	同 廿八日
次回俗謠『夕闇』		

京日案內

普通（一回五十錢 二十字以內）　番外（一回金一圓 二十字以內）

510 大猫牛馬に對して狂犬病豫防注射を施せば狂犬病に罹らず◎大猫診療所 南山町二の六 京城狂犬病豫防注射所

512 生後二ケ月の犬子系統血統共に正しく買受け度方は御申越被下度候（姓名在社）

514 電話讓渡したし　本町三　碧一商店

506 貸家 商業事務用煉瓦二階家屋數棟低價にて貸す　京城長谷川町五八番地ゴルシャキ

508 小僧入用 十六歲より十九歲迄 京龍間保證人を要す 山濱江通一三番地 松本組支店（電話一五二番）

(511) 女子 外交及集金事務員採用 希望者は履歷書携帶午後四時以後本人來談あれ 黃金町三丁目朝鮮研究會內 京城新聞社

605 支那語學講習會 七月廿日開講◎短期六ケ月を以て必須の支那語を授く◎詳細は照會あれ 長谷川町五八 支那語學社

618 廣橋自働車 京城春川間每日午前八時出發 京城春川間貸自働車片道四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 主務 金正淵

619 恩給 年金 短期 無保險 迅速融通 國江商會 京城武橋町二三番地 電話[illegible]

645 小兒科 大和町一丁目（日の出橋下ル） 爲春堂醫院 院主 古城剛吉（電話九二八番）

668 分礦物各種 坂元分拆所 京城太平通二ノ一五

672 遊船 當社は輕便隊船遊び法を開始し地曳網投網救命器（水泳用浮袋）を貸出します 共樂社 電話一三四四番

674 ゴム風船ゴムホースツキルデサック外各種ゴム製品製造卸 太陽ゴム商會 京城太平通大漢門前

604 恩給年金公債 日露戰役恩賜公債特別高價に買入す 山口屋 京城南大門外（御成町）

503 引越荷物 寢臺車 堀運送社 南山町三ノ廿九 電話二九三三 ▲安くて安心が出來ます▼

513 皮より强い値の安い 專賣柳製德用鞄 京城本町一丁目 高木旅行用具店

數ある中をM印は特に撰ばれて長き逸に御買上の光榮を得たる最優良品と御記臆を願ます

三田土ゴム製造合名會社製造　發賣元　大阪唐物町四　飯田商店

花柳病專門　外科

梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ㊁痔ろう㊂肛門病㊃皮膚病 婦人病 ◎神經衰弱 ㊄六〇六注射包皮其他手術每日 ◎診察無料◎入院隨時

京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院

信用ある小間物店にあり 京城黃金町 金鈴香水本舖 代理店 川本政次郞

不動産競賣廣告

京城府南大門通三丁目百八番地 一右地上建設[illegible]一煉瓦造[illegible]競賣場所 京城華商總會

蛇印アンチピリン丸

本舖 大阪東京 丹平商會

さむけ出で發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時本劑を服せば不思議の効あり（百十錢、十五錢、廿五錢）

女鳩

渡邊默禪

（五一）假裝會

あまりに急だつたので、來會者の數は案内狀を出した半分にも滿たないだらうと豫想されたのが、當日の指定時間までには最う五十餘人も繰込んで來た、點燈頃になると七十をかぞへるほどの員數になつた。

裝飾はさあらたまつた裝飾も施してなく、只玄關に金屏風を立てゝあつて、其處に接待係のお蝶さんが徳川時代の大奥の女中に打扮ち、紅梅色の小袖に源氏車の刺繍をした襠を著て、髪をすべらかしに結び、京扇を持ちながらつんと澄まし込んで、古風な言葉づかひに一々合釋をする。屏風の蔭にはやはり接待係の連中が御小姓やお大子供の假裝をして詰切つてゐて、お客が來ると直にお座敷へ案内するといふ手順。お客の方でも成るべく正體を秘すといふのが最初からの約束なので、一切名刺を置いたり氏名を言つたりするやうなことは禁ない。口數を聽かずにさつさと座敷へ通る。

座敷の方は十疊と八疊二間を打通しにして縁先に澤山の草履をそなへ庭園を公開して自由に運動ができるやうにしてあつた。室内には婦人の參考になりさうな古代の化粧道具や美術品を飾りつけて、一覽にそなへた。それが大河野家の所藏品と、幹事連の出品とを併せて陳列したもので、都合五六十點のうち、最も珍しく見られたのは奈良朝時代の稜鏡、平安朝時代の高蒔繪透彫の香爐、金銀造の風爐——婦人が好嗜みに香をたいて衣をあぶりしものや、正徳年間に用ゐられたといふ銀に小蝶を金粉の蒔繪にした琥珀の笄と簪、同じ頃の個縮の袖入、それから八重染の被衣。女の冠つた帷笠。元祿時代の花見小袖、紫頭巾、白檀珊瑚入の差簪。寛文時代の縫箔金糸縫の振袖、丹前むすびにしたといふ伊達染の帶、蒔繪の髮洗道具、金襴の筥せこなどであつた、此の外に南洋あたりの樂器だの、子爵が洋行中にあつめて來た歐洲古代の婦人裝飾品だの、埃及邊での妙な堀出物なども見られた

庭にはもう散り頭の白梅が、夕風の吹きゆく痕に外殘の香を惜ませてゐた。そこにはお汁粉とお鮨など、姫御前のお口にふさはしい模擬店が出してあつた、紅前垂の茶屋女に扮裝した此家の召使が、お孝をお婦さん役にして頻に愛嬌をふりまく、それから木立深く築山の際に御るこ、藁葺の茶室のなかにお出入の茶の湯の師匠が畏まつてゐて、お休みのお方へ薄茶一服まゐらせる。

來るほどの客はみんな、肝心の假裝を凝らしてゐた。尤も途中人目にふれるを氣づかつて、自動車か、馬車、もしくは下町の幌車を忍んで來た。意匠は人によつて千差萬別。

神代のむかしをその儘の首に勾玉をかけたものや、十二單重の濃艶な裝の粧ぞ。元祿姿のかいい振に伊達を飛ばしたものや、大津繪から思ひついた若衆に藤娘の二人連れや、あたまに新をのせないだけの大原女や。お伽噺の桃太郎そのまゝ内裡雛にかたどつた女官や、舞子の振をつけた藝妓のローマンス、八百屋のお七と吉三を配合つた、茶亭の待に前髪の小なしいお小姓吉左や、鼓をもつた靜御前や、其以上くつと趣味にくだけた紙治の雁次郎ばりに、新右衛門を寫生したおさんの一對や。こんなのは大和ぶりの有ふれた趣向で、氣取つた向になると、希臘神話の『銀月公主』のなかに出て來る少女のダフネや、ゴアの神ダーアナに打扮つたり。ゴルキーの『夜の宿』のナスチヤになつたり、歌劇『青春の泉』の水の精になつたり、沙翁の『冬物語』にある羊飼の王女ペルヂータになつたり、例のサロメになつたりした。總じて美しいのを好む女性の心理は、こゝにも遺憾なく現れてゐて、どれを見ても絢から脱け出したやうな綺羅らかな色彩美に、自分を持つてゆかうとしたことに一致してゐた。

このなかに一風かはつた裝ひをした女が一人ゐた。それは天主教の尼さんのやうな風をした何處かの老夫人だつた。

西洋料理アイスクリム、ハイカラ丼 おいしい洋食 本町一丁目大門通 電話二七一番 カフエータイガー

▢山城吟社句集

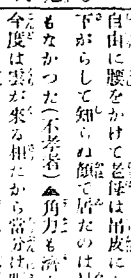
清水、ダリヤ、麥酒、氷水、蚤

月白し岨路傳ひ汲む清水　可舟
御手植の松に隣れる清水哉　清香
歸省子の戀なつかしき清水哉　南村
筏村は瓔珞多し苔清水　如風
仰ぎ見る岩の千疊や苔清水　香川
尖る山の麓に清水の湧く[illegible]　清香
山行くに清水得て意氣新なり　孤舟
亭前の亭後の棚田清水かな　南村
苔蝕す大儒の文字や岩清水　空堂
谿間の小砂利流るゝ清水哉　友萍
一徑は清水に盡きて夏深し　雨村
魚も棲まで蜜逃げ惑ふ清水哉　可舟
腹這ふて塵吹いて飲む清水哉　空堂
地息かぐ馬山を繞れる清水哉　不醉
新郎の木もなき庭のダリヤ哉　奇石
母に乞て花瓶にダリヤつなぐ危　可舟
未來孤の畫室ダリヤの灯に緋なる　清香
喘ぎ著し既にダリヤの資れてある　清香
布政衙門は道廳になりて咲くダリヤ　空堂
ダリヤ赤く咲く官邸や木の香り　同
圖書室に午後の疲れダリヤ見つ　清香
電話鳴りてダリヤに捨つる帶哉　雨村
大妓小妓起き出でダリヤ日午なり　不思郎
汽車待つと人の默してビール哉　清香
久闊の樽をすゝむる麥酒哉　雨村
高樓に麥酒苦しき戀もあり　不思郎
透し見て麥酒勸めぬ主人振　奇石
調印を終へし卓子の麥酒哉　如風
特の泡無器用に拭き麥酒哉　空堂
五六人ではたぬきし麥酒哉　奇石
一本の冷しビールや[illegible]　不思郎
麥酒提げ恩師を訪ふ夜道かな　友萍
腹を撫で麥酒を飲む裸人　空堂
楠木屋の隣に構ふ氷店　如風
吹き吹き氷噛む身の齒齦哉　清香
縁日や女さかしき氷店　同
蚤高く飛ぶに自笑す我捕や　同
蚤の飛ぶ方や毛脛の横はる　可舟
蚤飛んで總立になる女哉　如風
新聞紙に飛ぶ蚤を掃ふ庖　可舟
かき廻す五臟六腑や岩清水　友萍
山清水私したる茨垣哉　烏兎
博士先づ酌むつめたき麥酒哉　同
灯暗く屋臺に蚤驚きけり　同
積る蚤の行衛や佗て住む　同

▣病床にて　篠原空蝶

[illegible]

讀者の領分



▲十五日夕方一七號電車で黃金町通行中車内に四十才前後の夫婦と其の孫らしい人が乘つて居たが夫婦は自由に腰をかけて老体は前皮にぶら下からして知らぬ顏で居たのは見ともなかつた（不孝者）▲角力も濟んだらうが其よりもウンと面白い活動寫眞を見せてほしい（活動狂）▲坡州の鳥瞰が見たいなあ（活動狂）▲京城都衙洞面新化里北某と稱し七月六日京城に來りて詐欺を働きしものあり近に來りて謝罪せざれば相當の制裁を加ふべし（ヤラレタ生）▲人増せば水増す例ひ京城は内地人がドシ〳〵増加するに上水の貯水池は一向に御構ひなく増設しないで夏になると水が足らぬから節約しろ〳〵と八釜敷く御仰るより増設して貰ひたい其に近頃は水道料の前納には恐れ入る下水工事よりか上水工事を先にして貯水池の水を増したら如何です漢江は水はマーニイツソ（水狂生）▲葬式屋には大きな黒幕がありますよ先日大和町にて車夫の對話を聞けば死亡する時知らして其葬式屋が注文を取れば金高の一割を取るとの事である實に言語同斷ではないか（立聞小僧）

新刊紹介

▲日本木鐸新聞（七七三）五錢 東京[illegible]
▲養鶏指針（七月號）九錢 大阪府[illegible]
▲農業雑誌（一一七四）六錢 東京市[illegible]
▲陽明（五の六）五錢 大阪府天王寺村[illegible]
▲園藝の世界（四の七）二十錢 東京市[illegible]
▲婦女の友（創刊號）五錢 東京市[illegible]
▲刀劍と歷史（七月號）刀劍に關する由來[illegible]

紳士の賞用

天下唯一の家庭化粧料

ホーカー液

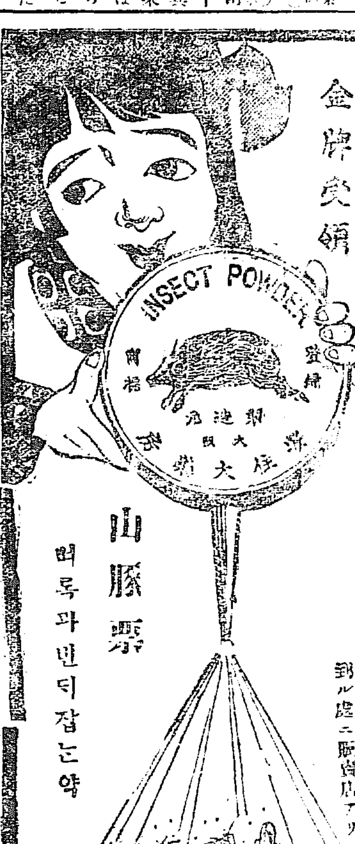
▼紳士とホーカー液

朝夕の洗面後、入浴後にホーカー液の一、二滴をお用ひ遊ばせば色を艶く色白く、肌をよくし眞に男子らしき、自然の美… 如何にも新時代の紳士たるに相應しい風采と快適なる容貌とを備へしめます、又ヒゲソリの前後にお用ひ遊ばせば顏の小傷を癒し剃刀マケの憂ひなく、日焼を防ぎ使用後スベ〳〵として頗る快感を覺えます

ホーカー液 定價 小瓶廿錢 中瓶四十錢 大瓶八十錢

▲三越呉服店をはじめ全國到る處の呉服店、小間物店、藥店、化粧品店に取次販賣す

ホーカー液本舗 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店



世界各國輸出品 金牌受領

猪印のみどり粉

定價 吹出散布器入 金二十錢 立鑵入 金十錢、金五錢

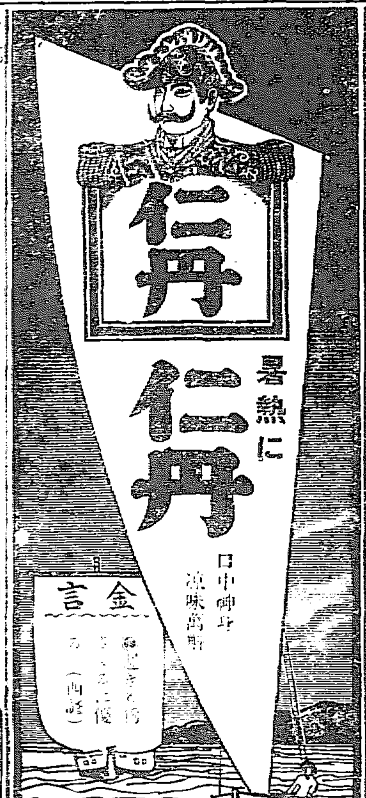
到ル處ニ販賣店アリ

山豚票

벼룩과빈대잡는약

萬年毛筆

特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收めたれば聊か謝意を表する爲め跡五千本を限り特價六十四錢 振替貯金口座京城三〇〇番 京城日報社代理部



暑熱に 仁丹 口中神斗 涼味萬斛

淋病内服新藥 ツヨール

故下山藥學博士、慶松藥學博士、朝比奈藥學博士、岩川藥學博士、笹川藥學博士、加藤獨逸醫學士、山田獨國醫學士、田中醫學博士等の實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

○到處藥舗に販賣 發賣元 東京日本橋 ツヨール商會 關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛

▲本品は[illegible]

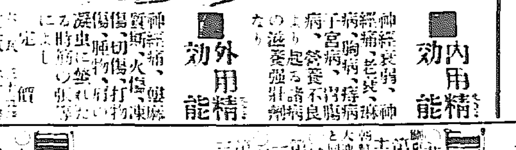
贊化病院 京城本町二丁目 電話二四二番

内科 小兒科 入院隨意 無料施療す 每日五名を限り

醫學博士 古城憲治

醫學士 上野亮職

朝鮮總督府許可



▣内用精 効能 神經衰弱、神經痛、肋膜病、痔病、子宮病、發育不良、胃腸病より起る諸病の滋養強壯劑なり

▣外用精 効能 神經痛、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、疥癬、蟲に螫れた時の腫れ[illegible]

人參直引大販賣所 京城本町一丁目 人參エキス製造發賣元 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二番

特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松屋阿部藥房

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 七月廿一日 安東丸 七月廿七日 後九時出 天智丸 七月廿二日
鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
鎭南浦、大連行
日本、大連行
群山、釜山、横濱行
濟州、木浦、甘津、寄港 元山出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 内國通運會社支店

朝鮮郵船出帆

京城南大門通 松原運送店 電話一七〇番
釜山發 元山發 木浦發 仁川發 各線（日程[illegible]）

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 七月廿六日後四時出帆 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連、大沽、牛莊行 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 山下回漕部 田口回漕部 河村運送店 大池回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 日後十時出帆
門司、神戸、大阪行 日後五時出帆
元山、城津、浦鹽行 日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 日後六時出帆
住吉、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

商況 大阪株式時電 仁川米豆取引所 ▲現物界 [illegible]

▲道連れは强盜（慶南東萊郡）下端居住朴兌烈（三二）は十七日釜山に出て歸途内地人と道連になり下端[illegible]